

カリキュラム・マップ（共通教育科目）

【カリキュラム・マップの目的】

各科目は、各学部等の定める学位授与方針（ディプロマ・ポリシー：以下、「DP」）と教育課程の編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー：以下、「CP」）に基づき、カリキュラム上に配置されています。
カリキュラム・マップでは、科目毎に、それを履修することにより『何ができるようになるか（到達目標）』を示します。
また、それらの到達目標が、DPとCPに基づき設定された学習・教育目標、国際理解、地域理解・地域貢献のどの項目と関連するのかが示します。

科目の到達目標と学習・教育目標の関連を明確にすることにより、カリキュラム全体を俯瞰し、自身の学習進捗具合を客観的に把握することができ、自らの主体的な学びに必要な科目選択が可能となります。
また、DP・CPを意識して科目の学修を進めることで、各学部等の期待する能力が養成されます。

対象入学年度	2018年度以降入学生
対象学部学科	文学部・地域政策学部
学習・教育目標	①【幅広い視野と教養】 一般社会常識として幅広い視野と教養をバランスよく身に付け、知性豊かな人間性や倫理を養成することができる。
	②【大学教育導入】 大学教育への導入を促し、学習・研究に必要な基礎的能力や知識を身に付けることができる。
	③【発展的思考・論理】 専門教育科目など高度な学問修得の基礎となる発展的思考・論理能力を総合的に身に付けることができる。
	④【外国語運用】 グローバル化する社会に求められる実践的な外国語運用能力を身に付けることができる。
	⑤【国際理解】 国際的視野から世界と日本を見つめ、多文化共生を目指す態度とそのためのコミュニケーション能力を身に付けることができる。
	⑥【情報処理】 進化するICT社会に必要な情報処理・リテラシー能力をバランスよく身に付けることができる。
	⑦【健康体力と身体運動】 生活習慣の改善と身体運動実践能力の習得により、心身ともに良好な健康状態と体力水準を保つことができる。
	⑧【地域理解・地域貢献】 多様な人びとと協力して地域社会に貢献する意欲と能力を身に付けることができる。

※学習・教育目標との関連度合いを表しています。（◎＝強く関連、○＝関連、△＝やや関連）

区分	科目コード	科目名	科目区分	配当年次	授業の到達目標	講義形態	使用言語にする	学習・教育目標との関連							
								①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
英語	TW000100	Communicative English I	必修	1年次	国際化・情報化時代に対応できる実践的な実用英語を身につける。発信的言語能力（話す書く技能）を中心に基礎的語学能力を身につける。	演習	英語	○	○		◎	○			
	TW000200	Communicative English II	必修	1年次	国際化・情報化時代に対応できる実践的な実用英語を身につける。発信的言語能力（話す書く技能）を中心に基礎的語学能力を身につける。	演習	英語	○	○		◎	○			
	TW000300	Reading I	必修	1年次	国際化・情報化時代に対応できる実践的な実用英語を身につける。文法の基礎固めを行い、その知識を活用しながら講読する英文の内容をより正確に把握する能力を身につける。	演習	英語 日本語	○	○		◎	○			
	TW000400	TOEIC	必修	1年次	国際化・情報化時代に対応できる実践的な実用英語を身につける。TOEICの出題形式に慣れ、語彙や慣用表現を学び、ListeningおよびReadingセクションではすばやく必要な情報を把握する能力を身につける。	演習	英語 日本語	○	○		◎	○			
	TW000500	Practical English I	必修	2年次	国際化・情報化時代に対応できる実践的な実用英語を身につける。聞いたり書いたり発表したりなど多様な言語活動から基礎的語学能力を身につける。	演習	英語 日本語	○	○		◎	○			
	TW000600	Practical English II	必修	2年次	国際化・情報化時代に対応できる実践的な実用英語を身につける。聞いたり書いたり発表したりなど多様な言語活動から基礎的語学能力を身につける。	演習	英語 日本語	○	○		◎	○			
	TW000700	Reading II	必修	2年次	Reading Iの内容をさらに発展させ、国際化・情報化時代に対応できる総合的語学能力を身につける。その知識を活用して、より高度の英語リテラシーの獲得を目指す。	演習	英語 日本語	○	○		◎	○			
	TW000800	Reading III	必修	2年次	Reading IIの内容をさらに発展させ、国際化・情報化時代に対応できる総合的語学能力を身につける。その知識を活用して、より高度の英語リテラシーの獲得を目指す。	演習	英語 日本語	○	○		◎	○			
	TW000900	Current English I	選択	2年次	時事英語を通じ、現代社会の諸問題に対応できる基礎的英語運用能力を身につける。	演習	英語	○	○		◎	○			
	TW001000	Current English II	選択	2年次	Current English Iで獲得した技能をもとに、現代社会の諸問題に対応できる基礎的英語運用能力を身につける。	演習	英語	○	○		◎	○			
	TW001100	Communication Skills I	選択	1年次	コミュニケーションのための基本的な4技能を含む多様な言語活動を通じて、実践的な英語の運用能力を身につける。	演習	英語	○	○		◎	○			
	TW001200	Communication Skills II	選択	1年次	コミュニケーションのための基本的な4技能を含む多様な言語活動を通じて実践的な英語の運用能力を身につける。	演習	英語	○	○		◎	○			
	TW001300	Communication Skills III	選択	1年次	コミュニケーションのための基本的な4技能を含む多様な言語活動を通じて実践的な英語の運用能力を身につける。	演習	英語	○	○		◎	○			
	TW001400	Communication Skills IV	選択	1年次	コミュニケーションのための基本的な4技能を含む多様な言語活動を通じて実践的な英語の運用能力を身につける。	演習	英語	○	○		◎	○			
	TW001500	入門中国語 I	必修	1年次	正しい中国語の発音を目指し、ピンインで書かれた音節表をすべて正しく読めること、文法では、簡単なあいさつ表現を中心に学びながら、同時に動詞、形容詞文等基礎的な文法を学び基礎的語学能力を身につける。	演習	中国語 日本語	○	○		◎	○			

区分	科目コード	科目名	科目区分	配当年次	授業の到達目標	講義形態	使用言語にする	学習・教育目標との関連							
								①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
中国語	TW001600	入門中国語Ⅱ	必修	1年次	正しい中国語の発音を目標とし、ピンインで書かれた音節表をすべて正しく読めること、文法では、簡単なあいさつ表現を中心に学びながら、同時に動詞、形容詞文等基礎的な文法を学び基礎的語学能力を身につける。	演習	中国語 日本語	○	○		◎	○			
	TW001700	基礎中国語Ⅰ	必修	1年次	正しい中国語の発音を目標とし、ピンインで書かれた音節表をすべて正しく読めること、文法では、簡単なあいさつ表現を中心に学びながら、同時に動詞、形容詞文等基礎的な文法を学び基礎的語学能力を身につける。	演習	中国語 日本語	○	○		◎	○			
	TW001800	基礎中国語Ⅱ	必修	1年次	正しい中国語の発音を目標とし、ピンインで書かれた音節表をすべて正しく読めること、文法では、簡単なあいさつ表現を中心に学びながら、同時に動詞、形容詞文等基礎的な文法を学び基礎的語学能力を身につける。	演習	中国語 日本語	○	○		◎	○			
	TW001900	応用中国語Ⅰ	必修	2年次	入門・基礎中国語で身につけた文法事項、単語を踏まえながら、発音の基礎をより強固なものにする。実際に中国語を使い、いくつかの場面を通して、習ったことを口頭でも言えるように練習し、実際に使えるレベルまでの基礎的語学能力を身につける。	演習	中国語 日本語	○	○		◎	○			
	TW002000	応用中国語Ⅱ	必修	2年次	入門・基礎中国語で身につけた文法事項、単語を踏まえながら、発音の基礎をより強固なものにする。実際に中国語を使い、いくつかの場面を通して、習ったことを口頭でも言えるように練習し、実際に使えるレベルまでの基礎的語学能力を身につける。	演習	中国語 日本語	○	○		◎	○			
	TW002100	総合中国語Ⅰ	必修	2年次	中国語の講読を中心に、中国の社会と文化がわかるような読み物を用いて、辞書を引きながら中国語で書かれた文章を読めるよう訓練をし、基礎的語学能力を身につける。	演習	中国語 日本語	○	○		◎	○			
	TW002200	総合中国語Ⅱ	必修	2年次	中国語の講読を中心に、中国の社会と文化がわかるような読み物を用いて、辞書を引きながら中国語で書かれた文章を読めるよう訓練をし、基礎的語学能力を身につける。	演習	中国語 日本語	○	○		◎	○			
	TW002300	中国語会話（初級）Ⅰ	選択	1年次	中国語の発音の矯正、強化につねに注意を払うとともに、語彙力を増やし、慣用句、成語等にも親しみ基礎的語学能力を身につける。	演習	中国語	○	○		◎	○			
	TW002400	中国語会話（初級）Ⅱ	選択	1年次	中国語の発音の矯正、強化につねに注意を払うとともに、語彙力を増やし、慣用句、成語等にも親しみ基礎的語学能力を身につける。	演習	中国語	○	○		◎	○			
	TW002500	中国語会話（中級）Ⅰ	選択	2年次	中国語で表現できることを目指すとともに、常用語句を自由に使えるよう文作りの練習をし、簡単な自由作文も書けることを目指す。発音の矯正、強化につねに注意を払うとともに、語彙力を増やし、慣用句、成語等にも親しみながら基礎的語学能力を身につける。	演習	中国語	○	○		◎	○			
	TW002600	中国語会話（中級）Ⅱ	選択	2年次	中国語で表現できることを目指すとともに、常用語句を自由に使えるよう文作りの練習をし、簡単な自由作文も書けることを目指す。発音の矯正、強化につねに注意を払うとともに、語彙力を増やし、慣用句、成語等にも親しみながら基礎的語学能力を身につける。	演習	中国語	○	○		◎	○			
	TW002700	コミュニケーション中国語Ⅰ A	選択	3年次	中国語で質問をしたり、自分の意見を言えるようなコミュニケーション能力の養成を目標とし、基礎的語学能力を身につける。	演習	中国語	○	○		◎	○			
	TW002800	コミュニケーション中国語Ⅰ B	選択	3年次	中国語で質問をしたり、自分の意見を言えるようなコミュニケーション能力の養成を目標とし、基礎的語学能力を身につける。	演習	中国語	○	○		◎	○			
	TW002900	コミュニケーション中国語Ⅱ A	選択	3年次	中国語で文章を細かく読むこと、中国語で書かれた文章を独力で正確に読めるようになるための訓練を行いながら基礎的語学能力を身につける。	演習	中国語 日本語	○	○		◎	○			
	TW003000	コミュニケーション中国語Ⅱ B	選択	3年次	中国語で文章を細かく読むこと、中国語で書かれた文章を独力で正確に読めるようになるための訓練を行いながら基礎的語学能力を身につける。	演習	中国語 日本語	○	○		◎	○			
フラン	TW003100	入門フランス語Ⅰ	必修	1年次	フランス語の表現の最初歩（自己紹介、あいさつ、自分や家族について簡単に表現すること）を身につける。	演習	フランス語 日本語	○	○		◎	○			
	TW003200	入門フランス語Ⅱ	必修	1年次	フランス語の表現の初歩（自分について、また自分の経験や予定について語ることができるようにすること）を身につける。	演習	フランス語 日本語	○	○		◎	○			
	TW003300	基礎フランス語Ⅰ	必修	1年次	フランス語の文字と発音について学び、文法の基礎（「現在」の事象について理解、表現すること）を身につける。	演習	フランス語 日本語	○	○		◎	○			
	TW003400	基礎フランス語Ⅱ	必修	1年次	フランス語の文法の基礎（「現在」のみではなく「過去」、「未来」の事象についても理解、表現できること）を身につける。	演習	フランス語 日本語	○	○		◎	○			
	TW003500	応用フランス語Ⅰ	必修	2年次	フランス語の初級文法をさらに推し進め、簡易な文章が読める程度の語学力獲得を目指す。	演習	フランス語 日本語	○	○		◎	○			
	TW003600	応用フランス語Ⅱ	必修	2年次	フランス語の初級文法の確認と復習をし、辞書を用いて文章が読めるレベルまでの読解能力を身につける。	演習	フランス語 日本語	○	○		◎	○			
	TW003700	総合フランス語Ⅰ	必修	2年次	フランス語で「読む」「書く」「聴く」「話す」という4技能を向上させ、コミュニケーションの基礎を習得する。	演習	フランス語 日本語	○	○		◎	○			
	TW003800	総合フランス語Ⅱ	必修	2年次	フランス語で「読む」「書く」「聴く」「話す」という4技能を向上させ、コミュニケーションの基礎を習得する。	演習	フランス語 日本語	○	○		◎	○			

区分	科目コード	科目名	科目区分	配当年次	授業の到達目標	講義形態	使用言語にする	学習・教育目標との関連							
								①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
フランス語	TW003900	フランス語会話（初級）Ⅰ	選択	1年次	フランス語の会話の最初歩（最も簡単な言葉でフランス語圏の人と交流できる）を身につける。	演習	フランス語	○	○		◎	○			
	TW004000	フランス語会話（初級）Ⅱ	選択	1年次	フランス語の会話の最初歩（最も簡単な言葉でフランス語圏の人と交流できる）を身につける。	演習	フランス語	○	○		◎	○			
	TW004100	フランス語会話（中級）Ⅰ	選択	2年次	フランス語の会話の初歩（簡単な言葉でフランス語圏の人と交流できる）を身につける。	演習	フランス語	○	○		◎	○			
	TW004200	フランス語会話（中級）Ⅱ	選択	2年次	フランス語の会話の初歩（簡単な言葉でフランス語圏の人と交流できる）を身につける。	演習	フランス語	○	○		◎	○			
	TW004300	コミュニケーションフランス語ⅠA	選択	3年次	基本的なフランス語のコミュニケーション能力（自分の身の回りの事柄について表現することができる）を身につける。	演習	フランス語	○	○		◎	○			
	TW004400	コミュニケーションフランス語ⅠB	選択	3年次	基本的なフランス語のコミュニケーション能力（自分の身の回りの事柄について表現することができる）を身につける。	演習	フランス語	○	○		◎	○			
	TW004500	コミュニケーションフランス語ⅡA	選択	3年次	基本的なフランス語のコミュニケーション能力（自分の身の回りの事柄について表現することができる）を身につける。	演習	フランス語	○	○		◎	○			
	TW004600	コミュニケーションフランス語ⅡB	選択	3年次	基本的なフランス語のコミュニケーション能力（自分の身の回りの事柄について表現することができる）を身につける。	演習	フランス語	○	○		◎	○			
ドイツ語	TW004700	入門ドイツ語Ⅰ	必修	1年次	ドイツ語の文字と発音について学び、視覚覚機器を利用しながらリスニングおよび発音練習などを繰り返す。基本語彙についても学びながら基礎的語学能力を身につける。	演習	ドイツ語 日本語	○	○		◎	○			
	TW004800	入門ドイツ語Ⅱ	必修	1年次	ドイツ語の文字と発音練習を基礎として、いろいろな状況や場面における簡単な会話方法を通じ基礎的語学能力を身につける。	演習	ドイツ語 日本語	○	○		◎	○			
	TW004900	基礎ドイツ語Ⅰ	必修	1年次	ドイツ語の初級文法の知識を習得し、それを基礎にやさしいドイツ語を話し、読む力を養いながら基礎的語学能力を身につける。	演習	ドイツ語 日本語	○	○		◎	○			
	TW005000	基礎ドイツ語Ⅱ	必修	1年次	ドイツ語の初級文法の知識を習得し、それを基礎にやさしいドイツ語を話し、読む力を養いながら基礎的語学能力を身につける。	演習	ドイツ語 日本語	○	○		◎	○			
	TW005100	応用ドイツ語Ⅰ	必修	2年次	入門・基礎ドイツ語で得た知識を確かなものにする、それを一段階ステップアップさせ初級文法を復習し、さまざまなドイツ語テキストをCDを用いて聞きつつ精読することで基礎的語学能力を身につける。	演習	ドイツ語 日本語	○	○		◎	○			
	TW005200	応用ドイツ語Ⅱ	必修	2年次	入門・基礎ドイツ語で得た知識を確かなものにする、それを一段階ステップアップさせ初級文法を復習し、さまざまなドイツ語テキストをCDを用いて聞きつつ精読することで基礎的語学能力を身につける。	演習	ドイツ語 日本語	○	○		◎	○			
	TW005300	総合ドイツ語Ⅰ	必修	2年次	ドイツ語の聞き取り能力の向上と日常的な会話の運用能力、異文化体験を通してドイツの文化の理解を深めながら基礎的語学能力を身につける。	演習	ドイツ語 日本語	○	○		◎	○			
	TW005400	総合ドイツ語Ⅱ	必修	2年次	ドイツ語の聞き取り能力の向上と日常的な会話の運用能力、異文化体験を通してドイツの文化の理解を深めながら基礎的語学能力を身につける。	演習	ドイツ語 日本語	○	○		◎	○			
	TW005500	ドイツ語会話（初級）Ⅰ	選択	1年次	ドイツ語の日常会話の運用能力、異文化への理解を深めながら基礎的語学能力を身につける。	演習	ドイツ語	○	○		◎	○			
	TW005600	ドイツ語会話（初級）Ⅱ	選択	1年次	ドイツ語の日常会話の運用能力、異文化への理解を深めながら基礎的語学能力を身につける。	演習	ドイツ語	○	○		◎	○			
	TW005700	ドイツ語会話（中級）Ⅰ	選択	3年次	ドイツ語の日常会話程度の基礎的なコミュニケーション能力を深めるとともに、受講者の自律、自習を促進することで基礎的語学能力を身につける。	演習	ドイツ語	○	○		◎	○			
	TW005800	ドイツ語会話（中級）Ⅱ	選択	3年次	ドイツ語の日常会話程度の基礎的なコミュニケーション能力を深めるとともに、受講者の自律、自習を促進することで基礎的語学能力を身につける。	演習	ドイツ語	○	○		◎	○			
ロシア語	TW005900	入門ロシア語Ⅰ	必修	1年次	ロシア語の簡単な日常会話ができるようになること、文化について触れながら基礎的語学能力を身につける。	演習	ロシア語 日本語	○	○		◎	○			
	TW006000	入門ロシア語Ⅱ	必修	1年次	ロシア語の簡単な日常会話ができるようになること、文化について触れながら基礎的語学能力を身につける。	演習	ロシア語 日本語	○	○		◎	○			
	TW006100	基礎ロシア語Ⅰ	必修	1年次	ロシア語のキリル文字を覚え、発音できるようになることと、ロシア語の名詞に関する基本的文法事項と動詞の基本活用を習得しながら基礎的語学能力を身につける。	演習	ロシア語 日本語	○	○		◎	○			
	TW006200	基礎ロシア語Ⅱ	必修	1年次	ロシア語のキリル文字を覚え、発音できるようになることと、ロシア語の名詞に関する基本的文法事項と動詞の基本活用を習得しながら基礎的語学能力を身につける。	演習	ロシア語 日本語	○	○		◎	○			

区分	科目コード	科目名	科目区分	配当年次	授業の到達目標	講義形態	使用言語にする	学習・教育目標との関連							
								①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
シア語	TW006300	応用ロシア語Ⅰ	必修	2年次	ロシア語の辞書と活用表を使用しながら、簡単なテキストが読めるようになることを目指し、同時に、ロシア文化に触れながら基礎的語学能力を身につける。	演習	ロシア語 日本語	○	○		◎	○			
	TW006400	応用ロシア語Ⅱ	必修	2年次	ロシア語の辞書の使い方に慣れ、ロシア語の初級および中級レベルのテキストを読みこなす読解力を養成しながら基礎的語学能力を身につける。	演習	ロシア語 日本語	○	○		◎	○			
	TW006500	総合ロシア語Ⅰ	必修	2年次	入門ロシア語、基礎ロシア語で学んできた文法知識を再確認しながら、ロシア語の運用能力を高めていく。特に「聞く活動」と「話す活動」を中心に基礎的語学能力を身につける。	演習	ロシア語 日本語	○	○		◎	○			
	TW006600	総合ロシア語Ⅱ	必修	2年次	入門ロシア語、基礎ロシア語で学んできた文法知識を再確認しながら、ロシア語の運用能力を高めていく。特に「聞く活動」と「話す活動」を中心に基礎的語学能力を身につける。	演習	ロシア語 日本語	○	○		◎	○			
韓国・朝鮮語	TW006700	入門韓国・朝鮮語Ⅰ	必修	1年次	ハングル文字を学び、同時に視聴覚機器を利用しながらその発音の練習を繰り返し、基礎的語学能力を身につける。	演習	韓国・朝鮮語 日本語	○	○		◎	○			
	TW006800	入門韓国・朝鮮語Ⅱ	必修	1年次	ハングル文字を学び、同時に視聴覚機器を利用しながらその発音の練習を繰り返し、基礎的語学能力を身につける。	演習	韓国・朝鮮語 日本語	○	○		◎	○			
	TW006900	基礎韓国・朝鮮語Ⅰ	必修	1年次	韓国・朝鮮語の初歩的な文法事項を学び、各種練習問題をこなすと同時に基本語彙を習得し、基礎的語学能力を身につける。	演習	韓国・朝鮮語 日本語	○	○		◎	○			
	TW007000	基礎韓国・朝鮮語Ⅱ	必修	1年次	韓国・朝鮮語の初歩的な文法事項を学び、各種練習問題をこなすと同時に基本語彙を習得し、基礎的語学能力を身につける。	演習	韓国・朝鮮語 日本語	○	○		◎	○			
	TW007100	応用韓国・朝鮮語Ⅰ	必修	2年次	入門・基礎韓国・朝鮮語で習得した初歩的な文法をもとに、韓国・朝鮮語の基礎的語学能力を向上させる。	演習	韓国・朝鮮語 日本語	○	○		◎	○			
	TW007200	応用韓国・朝鮮語Ⅱ	必修	2年次	入門・基礎韓国・朝鮮語で習得した初歩的な文法をもとに、韓国・朝鮮語の基礎的語学能力を向上させる。	演習	韓国・朝鮮語 日本語	○	○		◎	○			
	TW007300	総合韓国・朝鮮語Ⅰ	必修	2年次	入門・基礎韓国・朝鮮語で習得した初歩的な文法をもとに、韓国・朝鮮語の基礎的語学能力を向上させる。	演習	韓国・朝鮮語 日本語	○	○		◎	○			
	TW007400	総合韓国・朝鮮語Ⅱ	必修	2年次	入門・基礎韓国・朝鮮語で習得した初歩的な文法をもとに、韓国・朝鮮語の基礎的語学能力を向上させる。	演習	韓国・朝鮮語 日本語	○	○		◎	○			
ポルトガル語	TW007500	入門ポルトガル語Ⅰ	必修	1年次	ポルトガル語の文字、アルファベット、発音及びアクセントからはじまり、数詞、時間、日付、指示詞、所有代名詞、単数形・複数形、形容詞、前置詞、疑問詞、動詞の活用法等、一つのフレーズを作成するためのパーツを一つずつ学びながら基礎的語学能力を身につける。	演習	ポルトガル語 日本語	○	○		◎	○			
	TW007600	入門ポルトガル語Ⅱ	必修	1年次	ポルトガル語における表現幅及びニュアンスに対する理解を広げ、あらゆるものの一時的な状態、精神的及び身体的状態、人物、生物、物質の所在地、進行形、天気、場所を示す副詞等を学ぶ。一つの不規則動詞による幾つかの異なるニュアンス及び意味合い（用法、活用幅）を学びながら基礎的語学能力を身につける。	演習	ポルトガル語 日本語	○	○		◎	○			
	TW007700	基礎ポルトガル語Ⅰ	必修	1年次	ポルトガル語における文書構造の基礎レベルとなるフレーズの各パーツを学ぶ。目的格人称代名詞、比較級、各種の副詞等、動詞の過去形や未来形等を学びながら基礎的語学能力を身につける。	演習	ポルトガル語 日本語	○	○		◎	○			
	TW007800	基礎ポルトガル語Ⅱ	必修	1年次	ポルトガル語における文書構造の基礎レベルとなるフレーズの各パーツを学ぶ。目的格人称代名詞、比較級、各種の副詞等、動詞の過去形や未来形等を学びながら基礎的語学能力を身につける。	演習	ポルトガル語 日本語	○	○		◎	○			
	TW007900	日本語・表現Ⅰ	必修	1年次	日本語によるアカデミックな読み書き能力を身につける。さらに異文化を客観的に捉え、自己確立能力、基礎的語学能力を身につける。	演習	日本語	○	○		◎	○			
	TW008000	日本語・表現Ⅱ	必修	1年次	日本語によるレポートや論文を作成する応用力を身につける。論文作成では、特に構成力を学び、客観的な文章を書く力を身につける。	演習	日本語	○	○		◎	○			
	TW008100	日本語・論文技術（基礎）Ⅰ	必修	1年次	日本語を使用して社会的な情報を得る事を目的とし、論理的な思考に基づいたアカデミック・リテラシーの獲得を目指す。論理的な文章を読み、それを理解することで基礎的語学能力を身につける。	演習	日本語	○	○		◎	○			
	TW008200	日本語・論文技術（基礎）Ⅱ	必修	1年次	日本語によって、高度な知識を得る事を目的とし、論理的な思考に基づいたアカデミック・リテラシーを獲得する。論理的な文章を読み、それを理解することで応用力を身につける。	演習	日本語	○	○		◎	○			
	TW008300	日本語・総合Ⅰ	必修	2年次	日本語のアカデミックなレベルでの論理的表現の習得を目指す。様々な状況を客観的に説明し、問題解決を解決するために必要な日本語能力を身につける。	演習	日本語	○	○		◎	○			
	TW008400	日本語・総合Ⅱ	必修	2年次	日本語における論理的表現の習得並びに発表能力を高めることを目指す。社会的な問題についての新聞記事や論文を読み、それについてレジュメを作成し、討論、発表を通して自らの考えをわかりやすく伝える日本語力を身につける。	演習	日本語	○	○		◎	○			

区分	科目コード	科目名	科目区分	配当年次	授業の到達目標	講義形態	使用言語にする	学習・教育目標との関連							
								①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
日本語	TW008500	日本語・論文技術（応用）Ⅰ	必修	2年次	日本語による論理的な文章の読解リテラシーを身につける。「聞く」「話す」「読む」「書く」の四技能をバランスよく向上させ、「基礎」で習得したスキルをもとに応用力を身につける。	演習	日本語	○	○		◎	○			
	TW008600	日本語・論文技術（応用）Ⅱ	必修	2年次	日本語において、論理的な文章の読解リテラシー及び論理的な文章の作文力を身につける。「応用Ⅰ」で習得したスキルを向上させ、「文体」「文作法の技能」「文構成」に配慮した文章力を身につける。	演習	日本語	○	○		◎	○			
	TW008700	アカデミック日本語Ⅰ	選択	3年次	日本語によるアカデミックな文章力と構成力を身につけ、論理的でわかりやすい発表ができるようになる。パワーポイントによる発表、（提言、説明、意見表明などの）スピーチ、レジュメなどを作成する日本語力を身につける。	演習	日本語	○	○		◎	○			
	TW008800	アカデミック日本語Ⅱ	選択	3年次	日本語によるアカデミックな文章力と構成力を身につける。論理的な論文、レポートが書けるようになる。卒業論文作成に向けて、テーマ設定、構成、資料引用の仕方を理解し、論文を書く日本語力を身につける。	演習	日本語	○	○		◎	○			
	TW008900	ビジネス日本語Ⅰ	選択	3年次	日本語による待遇表現やビジネス場面での適切な表現を実践的に学ぶ。地域や社会の構成員として、日本人を含む他者との円滑なコミュニケーションをとるための日本語力を身につける。	演習	日本語	○	○		◎	○			
	TW009000	ビジネス日本語Ⅱ	選択	3年次	日本語による待遇表現やビジネス場面での適切な表現を実践的に学ぶ。電話のかけ方、依頼、断り、メールの書き方などのビジネスマナー及びそれに伴う日本語力を身につける。	演習	日本語	○	○		◎	○			
外国理解	TW009100	世界の言語Ⅰ	選択	2年次	ロシア語あるいはポルトガル語の基礎的な語学能力を身につけ、その言語の背景にある文化や歴史への理解を深める。	演習	ロシア語 ポルトガル語 日本語	○	○		◎	○			
	TW009200	世界の言語Ⅱ	選択	2年次	ロシア語あるいはポルトガル語の基礎的な語学能力を身につけ、その言語の背景にある文化や歴史への理解を深める。	演習	ロシア語 ポルトガル語 日本語	○	○		◎	○			
	TW009300	ラテン語Ⅰ	選択	2年次	ラテン語の基礎的な語学能力を身につけ、その言語の背景にある文化や歴史への理解を深める。	演習	ラテン語 日本語	○	○		◎	○			
	TW009400	ラテン語Ⅱ	選択	2年次	ラテン語の基礎的な語学能力を身につけ、その言語の背景にある文化や歴史への理解を深める。	演習	ラテン語 日本語	○	○		◎	○			
	TW009500	ギリシャ語Ⅰ	選択	2年次	ギリシャ語の基礎的な語学能力を身につけ、その言語の背景にある文化や歴史への理解を深める。	演習	ギリシャ語 日本語	○	○		◎	○			
	TW009600	ギリシャ語Ⅱ	選択	2年次	ギリシャ語の基礎的な語学能力を身につけ、その言語の背景にある文化や歴史への理解を深める。	演習	ギリシャ語 日本語	○	○		◎	○			
数理・情報分野	TW010500	教養数学	選択	1年次	数学の基礎的な力とそれをもとにした論理的思考力を習得し、物事や事象を、数学を通して理解する力量を身につける。	講義	日本語	◎	○						
	TW010600	数理科学	選択	1年次	社会現象や自然現象を、数学理論を通して理解することのできる、基礎的学習能力を身につける。	講義	日本語		○				◎		
	TW010700	確率入門	選択	1年次	確率の定義と基本的な性質を学習し、確率に関する基礎的学習能力を身につける。	講義	日本語		○				◎		
	TW010800	統計入門	選択	1年次	統計学の考え方および統計の基本的な性質について学び、簡単な統計量を求める能力を身につける。	講義	日本語		○				◎		
	TW010900	情報倫理	選択	1年次	ネットワーク社会を生きるために必要な倫理、及びその基礎理論・知識を身につける。	講義	日本語	◎	○						
	TW011000	マルチメディア表現	選択	1年次	音、静止画、動画等の様々なコンテンツを理解し、これらを組み合わせた効果的な表現方法を身につける。	講義	日本語		○				◎		
	TW011100	ネットワーク演習	選択	1年次	インターネットをはじめとする各種ネットワークの仕組みを理解し、簡単なLAN構築ができるようになる。	演習	日本語		○				◎		
	TW011200	社会データ分析入門	選択	1年次	統計データの扱い方と表計算ソフトの使い方を習得することにより、データの分析や表現と解析能力を身につける。	講義	日本語		○				◎		
	TW011300	プログラミング	選択	1年次	ソフトウェアの仕組みを論理的に考える能力を獲得し、プログラムを用いて簡単な機能構築ができる。	講義	日本語		○				◎		

区分	科目コード	科目名	科目区分	配当年次	授業の到達目標	講義形態	使用言語にする	学習・教育目標との関連							
								①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
	TW011400	情報の科学	選択	1年次	論理の操作、進数の変換、文字、画像、音声などの容量計算、文字データの検索や置換、表計算ソフトをつかったデータ処理の基礎的能力を身につける。	講義	日本語		○				◎		
	TW011500	情報と社会	選択	1年次	知的所有権や個人情報など基本的な法規や、広告や評判システムのしくみを学び、賢い選択を可能にする基礎を築き、数量だけでなく、つながり方に注目して事象をみる眼を養う能力を身につける。	講義	日本語	◎	○						
	TW011600	情報総合演習	選択	1年次	文書作成やデータ処理などの基礎的な情報リテラシー能力を演習を通して習得するとともに、デジタル化などの情報処理の基本的な手法を身につける。	演習	日本語		○				◎		
自然分野	TW011700	物質の科学	選択	1年次	様々な物質に関する科学の知識と科学的素養、および物事を科学的論理的に分析できる思考能力を身につける。	講義	日本語	◎	○						
	TW011800	地球の科学	選択	1年次	地球科学の基礎的な知識を習得し、身の回りの自然現象のメカニズムや地球進化の過程の理解を通して科学的素養を身につける。	講義	日本語	◎	○						
	TW011900	宇宙の科学	選択	1年次	宇宙に関する内容を中心にした学習を通して、自然科学に対する苦手意識を無くし、興味関心を高める基礎的学習能力を身につける。	講義	日本語	◎	○						
	TW012000	生命の科学	選択	1年次	生命活動に関する科学的基礎知識を、食行動の視点から理解することにより、安全で健康な生活とは何かを分析・思考できる科学的素養を身につける。	講義	日本語	◎	○						
	TW012100	環境の科学	選択	1年次	地球温暖化など多様な環境問題とその背後にある地球環境のメカニズムを理解し、今後の地球環境を自ら考える力を身に付ける。	講義	日本語	◎	○						
	TW012200	科学技術史	選択	1年次	様々な科学技術の歴史の概要を知り、それが人類文明の中でどのような意味があるのかを理解する。	講義	日本語	◎	○						
	TW012300	現代技術と社会	選択	1年次	現代社会を基礎づける様々な科学技術に関して、その原理と社会への影響を考えられる基礎的学習能力を身につける。	講義	日本語	◎	○						
	TW012400	地球環境問題	選択	1年次	地球環境問題の本質と構造を正しく理解し、対応を模索する基礎的学習能力を身につける。	講義	日本語	◎	○						
	TW012500	自然環境と地理	選択	1年次	自然地理学の分野を中心に世界の諸地域の多様な自然環境に関する知識を習得し、自然環境の分析能力を身につける。	講義	日本語	◎	○						
	TW012600	動物行動学	選択	1年次	ヒトを含む動物の行動を対象に研究する学問である動物行動学について基礎的知見を身につける。	講義	日本語	◎	○						
	TW012700	健康科学	選択	1年次	身近な健康問題から自身の健康管理の方法を学び実践する。我が国の死因の多くを占める生活習慣病について基礎知識を身につける。	講義	日本語	◎	○						
	TW012800	スポーツ工学	選択	1年次	スポーツ工学やスポーツバイオメカニクスに関する専門用語や法則、研究手法等を実際のスポーツ場面に合わせ身につける。	講義	日本語	◎	○						
	TW012900	トレーニング科学	選択	1年次	トレーニングの生理学的基礎・力学的基礎・生物学的基礎ならびにトレーニングの原理・原則、基礎的方法を身につける。	講義	日本語	◎	○						
社会分野	TW013000	歴史学	選択	1年次	様々な歴史事象と歴史観を学び、歴史学の基本は史料から史実を見出すことが重要であることを理解し基礎的学習能力を身につける。	講義	日本語	◎	○						
	TW013100	考古学	選択	1年次	考古学の方法論と成果について理解し、考古遺物と遺構から明らかになる歴史事象を踏まえた基礎的学習能力を身につける。	講義	日本語	◎	○						
	TW013200	地理学	選択	1年次	日本列島など世界の諸地域の地理的性質と抱える課題を理解しつつ、多様な空間スケールで社会の諸事象を把握・考察する力量を養う。	講義	日本語	◎	○						
	TW013300	社会学	選択	1年次	社会学の基本的な考え方や概念を理解することにより、日常生活の中で遭遇する具体的な問題や出来事について、社会的事象との関連を想像しつつ考えるための基礎能力を身につける。	講義	日本語	◎	○						
	TW013400	政治学	選択	1年次	政治の機構（国会や内閣、官僚制など）や政治の過程（選挙、政党、利益集団など）の意義や働きを理解し、民主政治のあり方について考察できる分析力を身につける。	講義	日本語	◎	○						
	TW013500	経済学	選択	1年次	現代経済の仕組みを理解し、経済学の基礎理論を修得し、経済問題を自分で考えることができる力を身につける。	講義	日本語	◎	○						
	TW013600	法学	選択	1年次	法学の基本知識を学ぶことを通し、個人の尊厳性にもとづく人権の意義について考える力を身につける。	講義	日本語	◎	○						

区分	科目コード	科目名	科目区分	配当年次	授業の到達目標	講義形態	使用言語にする	学習・教育目標との関連							
								①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
	TW013700	経営学	選択	1年次	企業をはじめとする組織の経営に関して、受講者が自ら問題を発見し、それを分析する力を身につける。	講義	日本語	◎	○						
	TW013800	憲法学	選択	1年次	憲法の基本的な原理やしくみを理解し憲法に基づいて物事を考える基礎的学習能力を身につける。	講義	日本語	◎	○						
	TW013900	レクリエーション論	選択	1年次	様々な対象者の交流について学び、地域の社会資源を積極的に調べ学ぶこと、レクリエーション活動を実施する際の情報収集・企画・実施・評価の手順を学び、手順にそった企画書が作成できる基礎的学習能力を身につける。	講義	日本語	◎	○						
	TW014000	ジェンダー論	選択	1年次	ジェンダーという概念を理解し、ジェンダー視点をもって社会のありよう、あるいは個人の生き方などを考える基礎的学習能力を身につける。	講義	日本語	◎	○						
人文分野	TW014100	哲学	選択	1年次	哲学の思考法について一定の理解を得ると同時に、今日の人文系諸学のパラダイムを概観し基礎的学習能力を身につける。	講義	日本語	◎	○						
	TW014200	論理学	選択	1年次	論理的に真である（正しい）とはどういうことかを理解し、日常生活でも論理的な正しさを実践できることを身につける。	講義	日本語	◎	○						
	TW014300	宗教学	選択	1年次	宗教の様相を学ぶことで、宗教と社会との関係について理解を深め、主体的に宗教について考えるための基礎知識および方法を習得する。	講義	日本語	◎	○						
	TW014400	心理学	選択	1年次	教養としての心理学全般を学ぶ。学問としての心理学が扱うものと扱わないもの、できることとできないことの違いを正しく理解し、実社会における心理学の現実的な応用可能性について考えることができるよう基礎的学習能力を身につける。	講義	日本語	◎	○						
	TW014500	文化人類学	選択	1年次	文化人類学に関する基礎知識を得るとともに、文化人類学の方法を知り、文化について考察できる基礎的学習能力を身につける。	講義	日本語	◎	○						
	TW014600	現代の思想	選択	1年次	様々な現代思想について学習し、現代社会が抱える諸問題について考えるための基本的知識を身につける。	講義	日本語	◎	○						
	TW014700	民俗学	選択	1年次	民俗学の歴史や方法論、成果について学習し、民俗学に関する基礎的学習能力を身につける。	講義	日本語	◎	○						
	TW014800	スポーツ文化論	選択	1年次	スポーツが文化であることを理解・説明でき、次世代にスポーツ文化を正確に伝播できる基礎知識を身につける。	講義	日本語	◎	○						
	TW014900	日本事情Ⅰ	選択	1年次	日本についての理解を深め、アンケート調査やレポート作成とその発表のスキル、基礎的学習能力を身につける。	講義	日本語	◎	○						
	TW015000	日本事情Ⅱ	選択	1年次	日本の社会問題や社会事情についての理解を深め、それらについて自ら調べて発表する基礎的学習能力を身につける。	講義	日本語	◎	○						
	TW015100	文学	選択	1年次	古今東西の文学作品の鑑賞を通じて、その表現、テーマを学び、基礎的学習能力を身につける。	講義	日本語	◎	○						
	TW015200	日本語学	選択	1年次	日本語について多様な角度から、学問的知識を学び基礎的学習能力を身につける。	講義	日本語	◎	○						
	TW015300	古典の世界	選択	1年次	古典文学に親しみ、文字文化への興味を喚起しつつ読解力や表現力を高め、基礎的学習能力を身につける。	講義	日本語	◎	○						
	TW015400	言語と文化	選択	1年次	言語と文化の特質を知り、世界におけるその位置と役割について知ることによって基礎的学習能力を身につける。	講義	日本語	◎	○						
	TW015500	芸術論	選択	1年次	芸術における自然や自由の意味などの各種論点を考え、基礎的学習能力を身につける。	講義	日本語	◎	○						
総合		総合科目	選択	1年次	共通教育各分野を総合的に包括し、学習能力を身につける。	講義	日本語	△	◎	○					
	TW015600	総合演習	選択	2年次	共通教育各分野を総合的に包括し、演習形式授業にて専門教育科目に必要な学習能力を身につける。	演習	日本語	△	◎	○					
	TW015700	キャリアデザイン基礎	選択	1年次	キャリアに関する視点や理論を学ぶことで、自分自身のキャリアデザインを描写し、その実現に向けた計画力を身に付けることができる。	講義	日本語	○	◎	△					△
	TW015800	キャリアデザイン応用	選択	2年次	キャリアや労働などが持つ意味を多面的領域から考察することを通じ、キャリアに対する客観的な理解力と主体的な姿勢を身に付けることができる。	講義	日本語	◎	○	△					△
	TW015900	キャリアデザイン特殊講義	選択	2年次	特定分野のキャリア等について学ぶことを通じ、自分自身のキャリア形成意欲を高め、将来に対して明確な目標と方向性をもち、その実現に向けた思考力を身に付けることができる。	講義	日本語	○	△	◎					△

区分	科目コード	科目名	科目区分	配当年次	授業の到達目標	講義形態	使用言語にする	学習・教育目標との関連							
								①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
	TW017200	データサイエンス入門 ※ 2022年度以降入学生が履修可能	選択	1年次	AI・データサイエンスの必要性を説明できる。	講義	日本語	◎		△			○		
体育	TW016000	スポーツ・健康演習	必修	1年次	健康演習で得られた食生活および生活習慣病に関する知識に基づき、自分自身の生活を振り返ると共に健康的な生活を送るための生活プランを立てることができる。 体力測定演習で得られた自分のデータに基づき、体力の維持・向上を目的とした無理のない運動プランを立てることができる。 屋内・屋外種目として実施したスポーツ種目について、種目の特性を活かした身体運動を実施することができる。 各種トレーニングについて目的に合わせたトレーニングを選び実践することができる。	演習	日本語	○		○				◎	
	TW016100	スポーツ実技Ⅰ	選択	2年次	継続的な運動を行うために必要な運動特性の基本理解、施設用具とルールについての知識習得、体力や技術を向上させる基礎的能力を身につける。	実技	日本語	△		○				◎	
	TW016200	スポーツ実技Ⅱ	選択	2年次	継続的な運動を行うために必要な運動特性の基本理解、施設用具とルールについての知識習得、体力や技術を向上させる基礎的能力を身につける。	実技	日本語	△		○				◎	

【カリキュラム・マップの目的】

各科目は、各学部等の定める学位授与方針（ディプロマ・ポリシー：以下、「DP」）と教育課程の編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー：以下、「CP」）に基づき、カリキュラム上に配置されています。

カリキュラム・マップでは、科目毎に、それを履修することにより『何ができるようになるか（到達目標）』を示します。

また、それらの到達目標が、DPとCPに基づき設定された学習・教育目標、国際理解・地域理解・地域貢献のどの項目と関連するのかが示します。

科目の到達目標と学習・教育目標の関連を明確にすることにより、カリキュラム全体を俯瞰し、自身の学習進捗具合を客観的に把握することができ、自らの主体的な学びに必要な科目選択が可能となります。

また、DP・CPを意識して科目の学修を進めることで、各学部等の期待する能力が養成されます。

対象入学年度	2018年度以降入学生
対象学部学科	文学部 人文社会学科

学習・教育目標	①問題を発見する力
	②調査をする力
	③資料・テキストを解釈する力
	④データを分析する力
	⑤創造し表現する力
	⑥コミュニケーションする力

※学習・教育目標との関連度合いを表しています。
（◎＝強く関連、○＝関連、△＝やや関連）

区分	科目コード	科目名	科目区分	配当年次	授業の到達目標	講義形態	使用言語にする	学習・教育目標との関連					
								①	②	③	④	⑤	⑥
学部必修	LL000100	文学部総合研究	必修	1年	文学部に属する諸学の研究の全体像を理解する。	講義	日本語のみ	◎	△	○	○	△	△
	LL000200	卒業論文	必修	4年	テーマ発掘力、調査力、資料の解釈・分析力、ものごとを自分なりに考え、新たなものを創造し、表現する力、また自分で導き出したものや創造したものを人前で発表する力、質問や批判に答え、他者と対話する力を養う。	卒業論文・研究	日本語、英語、ドイツ語又はフランス語	◎	◎	◎	◎	◎	◎
学部選択必修	LL000300	入門講義（現代文化）	選択	1年	事物に対する幅広い視野を持てる。積極的に議論に参加できる。	講義	日本語のみ	◎	○	○	○	○	○
	LL000400	入門講義（社会学）	選択	1年	1 社会学における基礎的な概念を理解する。 2 現実社会における問題を、社会学的視角から発見する。 3 以上をととして社会的な思考法を身につける。	講義	日本語のみ	◎		○	○	○	○
	LL000500	入門講義（心理学）	選択	1年	心理学における代表的な知見を学習し理解する。	講義	日本語のみ	◎		◎	△		
	LL000600	入門講義（歴史・地理学）	選択	1年	歴史・地理学各分野の概要と基礎的な方法論を理解する。	講義	日本語のみ	◎		○	○		
	LL000700	入門講義（日本語日本文学）	選択	1年	日本語と日本文学に関する知的好奇心を喚起し、理解力と読解力の向上を目指す。	講義	日本語のみ	◎	○	◎	△	◎	○
	LL000800	入門講義（欧米言語文化）	選択	1年	欧米言語文化コースの各専攻の研究内容を理解する。	講義	日本語のみ	◎		◎			
	LL000900	入門演習（現代文化）	選択	1年	現代文化コースのそれぞれの専攻の観点から、ディシプリンの中核となる発想法や概念を習得し、併せてテキスト読解、文書作成、プレゼンテーション能力の基盤を培う。	演習	日本語のみ	◎	○	◎	○	◎	◎
	LL001000	入門演習（社会学）	選択	1年	1. 問題発見力を習得できる。 2. 論理的思考力を習得できる。 3. 口頭・文章表現力を習得できる。 4. コミュニケーション力を習得できる。	演習	日本語のみ	◎		○	○	○	◎
	LL001100	入門演習（心理学）	選択	1年	心理学への関心と理解を深める	演習	日本語のみ	◎	◎	○	◎	◎	○
	LL001200	入門演習（歴史・地理学）	選択	1年	歴史・地理学各分野における基礎的な調査能力・文献や資料の読解能力を身につける。	演習	日本語のみ	○	○	◎	○	○	△
	LL001300	入門演習（日本語日本文学）	選択	1年	演習という形式の中で構造や語りの技法について双方向的に学び、小説を論理的に解釈し得る視点の獲得を目標とする。	演習	日本語のみ	◎	△	◎	△	○	◎
	LL001400	入門演習（欧米言語文化）	選択	1年	欧米言語文化コースの各専攻の研究方法を具体的な資料を使って実践する。	演習	日本語のみ	◎		◎			

【カリキュラム・マップの目的】

各科目は、各学部等の定める学位授与方針（ディプロマ・ポリシー：以下、「DP」）と教育課程の編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー：以下、「CP」）に基づき、カリキュラム上に配置されています。

カリキュラム・マップでは、科目毎に、それを履修することにより『何ができるようになるか（到達目標）』を示します。

また、それらの到達目標が、DPとCPに基づき設定された学習・教育目標、国際理解・地域理解・地域貢献のどの項目と関連するのかが示します。

科目の到達目標と学習・教育目標の関連を明確にすることにより、カリキュラム全体を俯瞰し、自身の学習進捗具合を客観的に把握することができ、自らの主体的な学びに必要な科目選択が可能となります。

また、DP・CPを意識して科目の学修を進めることで、各学部等の期待する能力が養成されます。

対象入学年度	2018年度以降入学生
対象学部学科	文学部 人文社会学科

学習・教育目標	①問題を発見する力
	②調査をする力
	③資料・テキストを解釈する力
	④データを分析する力
	⑤創造し表現する力
	⑥コミュニケーションする力

※学習・教育目標との関連度合いを表しています。
（◎＝強く関連、○＝関連、△＝やや関連）

区分	科目コード	科目名	科目区分	配当年次	授業の到達目標	講義形態	使用言語にする	学習・教育目標との関連					
								①	②	③	④	⑤	⑥
現代文化コース必修	LL100100	現代文化基礎演習	必修	2年	現代文化を理解しそれに対峙するために必要な、読解力、文章表現力、発表力の基礎を身につける。	演習	日本語のみ	○	○	○	○	◎	◎
	LL100200	現代文化基礎論	必修	2年	文化、情報の観点から現代文化をとらえるための基礎知識を習得する。	講義	日本語のみ	◎	○	○	○	△	△
	LL100300	表現実習	必修	2年	表現力、コミュニケーション能力、協働する力を養う。	実習	日本語のみ	△	○	△	△	◎	◎
	LL100400	現代文化演習Ⅰ	必修	3年	現代文化コースのそれぞれの専攻の観点から、現代文化に切り込むための基礎力および応用力を養成する。	演習	日本語のみ	◎	○	◎	○	◎	◎
	LL100500	現代文化演習Ⅱ	必修	3年	現代文化コースのそれぞれの専攻の観点から、現代文化に切り込むための基礎力および応用力を定着させる。	演習	日本語のみ	◎	○	◎	○	◎	◎
	LL100600	現代文化演習Ⅲ	必修	4年	現代文化コースのそれぞれの専攻の観点から、現代文化に切り込むための応用力、発信力を養成する。	演習	日本語のみ	◎	○	◎	○	◎	◎
	LL100700	現代文化演習Ⅳ	必修	4年	現代文化コースのそれぞれの専攻の観点から、現代文化に切り込むための応用力、発信力を定着させる。	演習	日本語のみ	◎	○	◎	○	◎	◎
	LL100800	東アジア文化総論	必修	2年	東アジア文化の全般的な特徴を知る。	講義	日本語のみ	◎	○				
	LL100900	東アジア文化各論	必修	2年	東アジア文化におけるさまざまな分野についての基礎知識を習得する。	講義	日本語のみ	◎	○	○			
	LL101000	西洋近代哲学史	必修	2年	西洋近代哲学史の基礎知識を習得する	講義	日本語のみ	◎	◎	◎			
	LL101100	西洋現代哲学史	必修	2年	西洋現代哲学史の基礎知識を習得する	講義	日本語のみ	◎	◎	◎			
	LL101200	図書館情報学概論Ⅰ	必修	2年	図書館情報学のあらましと現状についての基礎知識を習得する。	講義	日本語のみ	◎	◎	◎	◎		
	LL101300	図書館情報学概論Ⅱ	必修	2年	図書館情報学のあらましと現状についての基礎知識を習得する。	講義	日本語のみ	◎	◎	◎	◎		
	LL101400	メディア芸術概論Ⅰ	必修	2年	20世紀以降の現代芸術作品を通史的に学習し、現代芸術の基礎知識を身につける。	講義	日本語のみ	◎	△	◎	○	○	△
	LL101500	メディア芸術概論Ⅱ	必修	2年	アートと社会の関わりや可能性について自分の考えを他者に説明し説得できる言葉を持つ。	講義	日本語のみ	◎	◎	◎	◎	○	◎
	LL101600	現代文化論	必修	3年	現代の文化状況を俯瞰的に理解するために、必要な基礎概念と現状についての概略的理解を獲得する。	講義	日本語のみ	◎	○	○	○	△	△
東アジア文化専攻必修	LL101700	東アジア文化基礎演習Ⅰ	必修	2年	辞書の引き方・工具書の使い方を習得するとともに、東アジア文化の特徴を知る。	演習	日本語のみ	◎	◎	◎		○	○
	LL101800	東アジア文化基礎演習Ⅱ	必修	2年	研究論文の書き方を知る。	演習	日本語のみ	◎	◎	◎		◎	○
	LL101900	東アジア文化講読Ⅰ	必修	2年	辞書の引き方、漢文の語法を習得し、東アジアの代表的な思想家の文章が読めるようになること。	講義	日本語のみ	○	◎	◎			

【カリキュラム・マップの目的】

各科目は、各学部等の定める学位授与方針（ディプロマ・ポリシー：以下、「DP」）と教育課程の編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー：以下、「CP」）に基づき、カリキュラム上に配置されています。

カリキュラム・マップでは、科目毎に、それを履修することにより『何ができるようになるか（到達目標）』を示します。

また、それらの到達目標が、DPとCPに基づき設定された学習・教育目標、国際理解・地域理解・地域貢献のどの項目と関連するのかを示します。

科目の到達目標と学習・教育目標の関連を明確にすることにより、カリキュラム全体を俯瞰し、自身の学習進捗具合を客観的に把握することができ、自らの主体的な学びに必要な科目選択が可能となります。

また、DP・CPを意識して科目の学修を進めることで、各学部等の期待する能力が養成されます。

対象入学年度	2018年度以降入学生
対象学部学科	文学部 人文社会学科

学習・教育目標	①問題を発見する力
	②調査をする力
	③資料・テキストを解釈する力
	④データを分析する力
	⑤創造し表現する力
	⑥コミュニケーションする力

※学習・教育目標との関連度合いを表しています。
（◎＝強く関連、○＝関連、△＝やや関連）

区分	科目コード	科目名	科目区分	配当年次	授業の到達目標	講義形態	使用言語にする	学習・教育目標との関連					
								①	②	③	④	⑤	⑥
哲学専攻必修	LL102000	東アジア文化講読Ⅱ	必修	2年	漢文資料の読解力を養う。	講義	日本語のみ	○	◎	◎			
	LL102100	東アジア文化講読Ⅲ	必修	3年	日本の古代の政治・文化に触れ、大陸との交流に対する知識を増やす。さらに、漢文訓読にも習熟する。	講義	日本語のみ	○	◎	◎			
	LL102200	東アジア文化講読Ⅳ	必修	3年	日本の古代の政治・文化に触れ、大陸との交流に対する知識を増やす。さらに、漢文訓読にも習熟する。	講義	日本語のみ	○	◎	◎			
	LL102300	哲学基礎演習	必修	2年	哲学的議論の基礎力の習得。基本的、初歩的な哲学的問題を取り上げ、議論していく。	演習	日本語のみ	○	○	○		○	◎
	LL102400	ドイツ哲学講読A	必修	2年	ドイツ哲学の主要著作を通読し、テキスト読解力と最低限の語学力を養成する。	講義	日本語のみ	○	◎	◎		△	△
	LL102500	フランス哲学講読A	必修	2年	フランス哲学の主要著作を通読し、テキスト読解力と必要な語学力を養成する。	講義	日本語のみ	○	◎	◎		△	
	LL102600	ギリシア哲学講読A	必修	2年	古代ギリシア哲学を理解するための基礎力の養成。	講義	日本語のみ	○	△	◎		△	◎
	LL102700	ドイツ哲学講読B	必修	2年	ドイツ哲学の主要著作を通読し、基礎的なテキスト読解力と最低限の語学力を養成する。	講義	日本語のみ	○	◎	◎		△	
	LL102800	フランス哲学講読B	必修	2年	フランス哲学の主要著作を通読し、テキスト読解力と必要な語学力を養成する。	講義	日本語のみ	○	◎	◎		△	
	LL102900	ギリシア哲学講読B	必修	2年	古代ギリシア哲学を理解するための基礎力の定着。	講義	日本語のみ	○	△	◎		△	◎
	LL103000	ドイツ哲学講読C	必修	2年	ドイツ哲学の主要著作を通読し、発展的なテキスト読解力と最低限の語学力を養成する。	講義	日本語のみ	○	◎	◎		△	△
	LL103100	フランス哲学講読C	必修	2年	フランス哲学の主要著作を通読し、テキスト読解力と必要な語学力を養成する。	講義	日本語のみ	○	◎	◎		△	△
	LL103200	ギリシア哲学講読C	必修	2年	古代ギリシア哲学を現代にいかすための基礎力の養成。	講義	日本語のみ	○	△	◎		△	◎
	LL103300	ドイツ哲学講読D	必修	2年	ドイツ哲学の主要著作を通読し、発展的なテキスト読解力と最低限の語学力を養成する。	講義	日本語のみ	○	◎	◎		△	△
	LL103400	フランス哲学講読D	必修	2年	フランス哲学の主要著作を通読し、テキスト読解力と必要な語学力を養成する。	講義	日本語のみ	○	◎	◎		△	△
	LL103500	ギリシア哲学講読D	必修	2年	古代ギリシア哲学を現代に生かすための応用力の定着。	講義	日本語のみ	○	△	◎		△	◎
	LL103600	哲学概説Ⅰ	必修	2年	学問としての哲学についての体系的な基礎知識を身につける。	講義	日本語のみ	◎		○		○	△
	LL103700	哲学概説Ⅱ	必修	2年	学問としての哲学についての体系的な基礎知識を身につける。	講義	日本語のみ	◎		○		○	△

【カリキュラム・マップの目的】

各科目は、各学部等の定める学位授与方針（ディプロマ・ポリシー：以下、「DP」）と教育課程の編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー：以下、「CP」）に基づき、カリキュラム上に配置されています。

カリキュラム・マップでは、科目毎に、それを履修することにより『何ができるようになるか（到達目標）』を示します。

また、それらの到達目標が、DPとCPに基づき設定された学習・教育目標、国際理解・地域理解・地域貢献のどの項目と関連するのを示します。

科目の到達目標と学習・教育目標の関連を明確にすることにより、カリキュラム全体を俯瞰し、自身の学習進捗具合を客観的に把握することができ、自らの主体的な学びに必要な科目選択が可能となります。

また、DP・CPを意識して科目の学修を進めることで、各学部等の期待する能力が養成されます。

対象入学年度	2018年度以降入学生
対象学部学科	文学部 人文社会学科

学習・教育目標	①問題を発見する力
	②調査をする力
	③資料・テキストを解釈する力
	④データを分析する力
	⑤創造し表現する力
	⑥コミュニケーションする力

※学習・教育目標との関連度合いを表しています。
（◎＝強く関連、○＝関連、△＝やや関連）

区分	科目コード	科目名	科目区分	配当年次	授業の到達目標	講義形態	使用言語にする	学習・教育目標との関連					
								①	②	③	④	⑤	⑥
図書館情報学専攻必修	LL103800	図書館情報サービス A	必修	2年	図書館サービスの意義と理念を知ること。図書館サービスの内容と方法を理解すること。館種別図書館サービスと図書館協力を知ること。図書館サービスの再構築を考えること。	講義	日本語のみ	○	◎	◎	○	△	△
	LL103900	図書館情報サービス B	必修	2年	図書館における情報サービスの意義、種類を理解できること。情報サービスに用いる多くの情報源について理解できること。文献検索における検索方法や探索方法を理解できること。レファレンスサービスの意味を理解し、さらにレファレンスブックやレファレンスの利用方法を理解すること。	講義	日本語のみ	○	◎	◎	○	△	◎
	LL104000	調査検索実習	必修	2年	ゼミ研究や卒業論文の研究のために必要な、文献情報やデータの収集、評価、編集ができるようになる。	実習	日本語のみ	○	◎	◎	◎	○	○
	LL104100	図書館情報資源論	必修	2年	図書館情報資源の多種多様な特性や形態の理解とともに、情報資源を情報メディア環境や生産・流通、社会の動向のなかに位置づけて理解することを求める	講義	日本語のみ	△	△	◎	◎	◎	△
	LL104200	図書館情報学講読 I	必修	2年	ライブラリアンシップを理解し、プロフェッショナル・ライブラリアン、サブジェクト・ライブラリアンの重要性を理解すること。	講義	日本語のみ	◎	○	◎	○	△	△
	LL104300	図書館情報学講読 II	必修	2年	専門分野の文献を読む基礎的な能力を身につける。	講義	日本語のみ	◎	○	◎	○	△	◎
	LL104400	情報処理 A	必修	2年	プログラミングの基礎を理解し、自分の力でアプリを作成する。	講義	日本語のみ	△	○	△	◎	◎	△
	LL104500	情報処理 B	必修	2年	SQL言語の基礎を理解し、自分の力でデータベースへの問い合わせができる。	講義	日本語のみ	△	○	△	◎	◎	△
	LL104600	専門情報 A	必修	2年	2014年度開講なし。	講義	日本語のみ	○	○	◎	△	△	△
	LL104700	専門情報 B	必修	2年	講義を通して、さまざまな逐次刊行物の特徴を理解し、図書館において有効に活用できる力を身につける。	講義	日本語のみ	○	○	◎	△	△	△
	LL104800	情報資源各論 A	必修	2年	自然科学の活動、およびその分野の情報資源の基本的特徴を知る。	講義	日本語のみ	△	◎	◎	△	△	△
	LL104900	情報資源各論 B	必修	2年	社会学の歴史の理解と、著作の理解。	講義	日本語のみ	△	◎	◎	△	△	△
メディア芸術専攻必修	LL105000	メディア芸術基礎研究法	必修	2年	専攻の実習、演習、卒業制作で使用する機材等について基礎知識と安全な操作方法を習得する。	講義	日本語のみ	◎	△	○	△	◎	◎
	LL105100	メディア芸術批評実習 I	必修	2年	アートの身体性を理解し、言語化し、他者に伝える力を習得する。	実習	日本語のみ	◎	○	◎	○	◎	◎
	LL105200	メディア芸術基礎実習 I	必修	2年	アートを様々な領域に活かすための感性と発想力を体験を通じて習得する。	実習	日本語のみ	○	△	○	△	◎	◎
	LL105300	マルチメディア制作実習 I	必修	2年	映像機材の操作方法と、撮影と編集の基本的な技術を習得し、映像メディアの成り立ちと特性を理解する。	実習	日本語のみ	○	△	△	○	◎	◎
	LL105400	情報デザイン論実習 I	必修	2年	グラフィックデザインの実践に不可欠であるソフトウェアに関する基礎的な技術を習得し、平面における視覚情報の基本構造を理解する。	実習	日本語のみ	○	△	◎	○	◎	○

【カリキュラム・マップの目的】

各科目は、各学部等の定める学位授与方針（ディプロマ・ポリシー：以下、「DP」）と教育課程の編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー：以下、「CP」）に基づき、カリキュラム上に配置されています。

カリキュラム・マップでは、科目毎に、それを履修することにより『何ができるようになるか（到達目標）』を示します。

また、それらの到達目標が、DPとCPに基づき設定された学習・教育目標、国際理解・地域理解・地域貢献のどの項目と関連するのを示します。

科目の到達目標と学習・教育目標の関連を明確にすることにより、カリキュラム全体を俯瞰し、自身の学習進捗具合を客観的に把握することができ、自らの主体的な学びに必要な科目選択が可能となります。

また、DP・CPを意識して科目の学修を進めることで、各学部等の期待する能力が養成されます。

対象入学年度	2018年度以降入学生
対象学部学科	文学部 人文社会学科

学習・教育 目標	①問題を発見する力
	②調査をする力
	③資料・テキストを解釈する力
	④データを分析する力
	⑤創造し表現する力
	⑥コミュニケーションする力

※学習・教育目標との関連度合いを表しています。
（◎＝強く関連、○＝関連、△＝やや関連）

区分	科目コード	科目名	科目区分	配当年次	授業の到達目標	講義形態	使用言語にする	学習・教育目標との関連					
								①	②	③	④	⑤	⑥
	LL105500	メディア芸術批評実習Ⅱ	必修	2年	多様な視点から作品を解釈し批評する鑑賞力と文章力を養う。	実習	日本語のみ	○	◎	◎	○	○	◎
	LL105600	メディア芸術基礎実習Ⅱ	必修	2年	アートを様々な領域に活かすための感性と発想力を体験を通じて習得する。	実習	日本語のみ	○	△	○	△	◎	◎
	LL105700	マルチメディア制作実習Ⅱ	必修	2年	映像作品制作の実習を通して、映像メディアの特性を体験的に理解することにより、映像メディアに対するリテラシーを高める。	実習	日本語のみ	○	△	△	○	◎	◎
	LL105800	情報デザイン論実習Ⅱ	必修	2年	グラフィックデザインの制作を通して、平面における視覚情報伝達の構造を体験的に理解することで、紙媒体、インターネット等の視覚情報に対するリテラシーを高める。	実習	日本語のみ	△	△	○	○	◎	◎

【カリキュラム・マップの目的】

各科目は、各学部等の定める学位授与方針（ディプロマ・ポリシー：以下、「DP」）と教育課程の編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー：以下、「CP」）に基づき、カリキュラム上に配置されています。

カリキュラム・マップでは、科目毎に、それを履修することにより『何ができるようになるか（到達目標）』を示します。

また、それらの到達目標が、DPとCPに基づき設定された学習・教育目標、国際理解・地域理解・地域貢献のどの項目と関連するのかを示します。

科目の到達目標と学習・教育目標の関連を明確にすることにより、カリキュラム全体を俯瞰し、自身の学習進捗具合を客観的に把握することができ、

自らの主体的な学びに必要な科目選択が可能となります。

また、DP・CPを意識して科目の学修を進めることで、各学部等の期待する能力が養成されます。

対象入学年度	2018年度以降入学生
対象学部学科	文学部 人文社会学科

学習・教育 目標	①問題を発見する力
	②調査をする力
	③資料・テキストを解釈する力
	④データを分析する力
	⑤創造し表現する力
	⑥コミュニケーションする力

※学習・教育目標との関連度合いを表しています。
（◎＝強く関連、○＝関連、△＝やや関連）

区分	科目 コード	科目名	科目 区分	配 当 年 次	授業の到達目標	講 義 形 態	使 言 用 主 語 す に る	学習・教育目標との関連					
								①	②	③	④	⑤	⑥
現代文化 コース 共通選択	LL105900	中国思想Ⅰ	選択	2年	朱子学における実利主義に多する評価を理解し、それがどのように変化したのかを理解する。	講義	日本語のみ	◎	○	○			
	LL106000	中国思想Ⅱ	選択	2年	士人意識に対する理解を深める。	講義	日本語のみ	◎	○	○			
	LL106100	日本思想Ⅰ	選択	2年	朱子学と陽明学の内容、及びそれらが江戸時代にどのように展開したか、日本的な特徴を理解する。	講義	日本語のみ	◎	○	○			
	LL106200	日本思想Ⅱ	選択	2年	朱子学と陽明学の内容、及びそれらが江戸時代にどのように展開したか、日本的な特徴を理解する。	講義	日本語のみ	◎	○	○			
	LL106300	インド思想Ⅰ	選択	2年	学生は授業を通して、西洋哲学とは異なるインド哲学の特徴を知ることができる。またインド思想は仏教を通して日本思想にも影響を与えているので、日本思想を研究するうえでも踏まえておきたいものである。この授業により、学生は考える力ばかりではなく、授業での討論により、問題点を整理し、それを解決する能力を身につけることが可能となる。	講義	日本語のみ	◎	○	○			
	LL106400	インド思想Ⅱ	選択	2年	インド仏教思想史を、歴史的な背景、地域性、および仏教内外の論争が与えた影響を視野に収めながら、的確に理解することを目標とする。	講義	日本語のみ	◎	○	○			
	LL106500	中国文学Ⅰ	選択	2年	『詩経』から盛唐までの詩歌の歩みの概要を理解し、各時代の特色、主な作者と作品についての基本的な知識を習得することを主な目標とする。また、それに伴い、中国の歴史や地理に関する基礎知識を習得すること、テキストの読解を通じて日本語（現代文・漢文）能力の向上を目指すことも、目標としたい。	講義	日本語のみ	◎	○	○			
	LL106600	中国文学Ⅱ	選択	2年	唐代から清代を経て近代に至るまでの詩歌の歩みの概要を理解し、各時代の特色、主な作者と作品についての基本的な知識を習得することを主な目標とする。また、それに伴い、中国の歴史や地理に関する基礎知識を習得すること、テキストの読解を通じて日本語（現代文・漢文）能力の向上を目指すことも、目標としたい。	講義	日本語のみ	◎	○	○			
	LL106700	文化交流史Ⅰ	選択	2年	漢字文化というもの国という枠組みを超えて見つめなおす視点を養う。	講義	日本語のみ	◎	○	○			
	LL106800	文化交流史Ⅱ	選択	2年	漢字文化・漢字文学を、国という枠組みを超えて、見つめなおす視点を養う。	講義	日本語のみ	◎	○	○			
	LL106900	漢文学Ⅰ	選択	2年	漢文の基本構造を理解し、漢文文献を訓読法で読むための基礎的な力を身につけることを目標とする。	講義	日本語のみ			◎			
	LL107000	漢文学Ⅱ	選択	2年	辞書を頼りに漢文の白文を解読する技能の修得を目指す。	講義	日本語のみ			◎			
	LL107100	書画論Ⅰ	選択	2年	書画に関するさまざまな表現について知見を広め、自らの表現に活かすことができる。	講義	日本語のみ	◎	△	△		◎	
	LL107200	書画論Ⅱ	選択	2年	書画に関するさまざまな表現について知見を広め、自らの表現に活かすことができる。	講義	日本語のみ	◎	△	△		◎	
	LL107300	書道Ⅰ	選択	2年	楷書における字形のとり方や配字法などについて理解し、日常の書字に活かすことができる。	講義	日本語のみ					◎	
	LL107400	書道Ⅱ	選択	2年	楷書と行書における字形のとり方や配字法などについて理解し、日常の書字に活かすことができる。	講義	日本語のみ					◎	

【カリキュラム・マップの目的】

各科目は、各学部等の定める学位授与方針（ディプロマ・ポリシー：以下、「DP」）と教育課程の編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー：以下、「CP」）に基づき、カリキュラム上に配置されています。
カリキュラム・マップでは、科目毎に、それを履修することにより『何ができるようになるか（到達目標）』を示します。
また、それらの到達目標が、DPとCPに基づき設定された学習・教育目標、国際理解・地域理解・地域貢献のどの項目と関連するのを示します。

科目の到達目標と学習・教育目標の関連を明確にすることにより、カリキュラム全体を俯瞰し、自身の学習進捗具合を客観的に把握することができ、自らの主体的な学びに必要な科目選択が可能となります。
また、DP・CPを意識して科目の学修を進めることで、各学部等の期待する能力が養成されます。

対象入学年度	2018年度以降入学生
対象学部学科	文学部 人文社会学科

学習・教育目標	①問題を発見する力
	②調査をする力
	③資料・テキストを解釈する力
	④データを分析する力
	⑤創造し表現する力
	⑥コミュニケーションする力

※学習・教育目標との関連度合いを表しています。
（◎＝強く関連、○＝関連、△＝やや関連）

区分	科目コード	科目名	科目区分	配当年次	授業の到達目標	講義形態	使用言語	学習・教育目標との関連					
								①	②	③	④	⑤	⑥
	LL107500	倫理学概論	選択	2年	倫理学的分析の基礎を学ぶとともに、倫理的問題を柔軟にとらえる訓練も目標としたい。	講義	日本語のみ	◎	△	○		△	△
	LL107600	応用倫理学概論	選択	2年	応用倫理学の現状について概略的な理解を得ると同時に、基礎概念を記憶に定着させる。	講義	日本語のみ	◎	○	○	△		○
	LL107700	哲学特殊講義A	選択	2年	哲学の現在進行形の議論状況を理解しそれに参入する力を養成する。	講義	日本語のみ	○	○	○		○	○
	LL107800	哲学特殊講義B	選択	2年	哲学の現在進行形の議論状況を理解しそれに参入する力を養成する。	講義	日本語のみ	○	○	○		○	○
	LL107900	宗教学概論	選択	2年	現代社会と宗教のかかわりについて主体的に考えて行くための基礎知識を習得する	講義	日本語のみ	◎	△	○	○	△	
	LL108000	宗教思想史	選択	2年	日本および東アジアの宗教文化を世界の宗教文化の中に位置づけ、自らがどうかかわるかを主体的に考えて行くための基礎知識を習得する	講義	日本語のみ	◎	△	○	○	△	
	LL108100	情報政策	選択	2年	図書館に関する法律と関連領域の法律を解説し、現在の図書館政策に関する問題点を理解させる。図書館経営の考え方、図書館員の育成について説明し、日米の図書館経営の相違を考究しながら、今後の図書館の発展を考える。	講義	日本語のみ	◎	△	○	△	△	△
	LL108200	メディア史	選択	2年	メディアの発達変遷過程の基本を知る。	講義	日本語のみ	○	△	△	△	○	△
	LL108300	情報組織化A	選択	2年	情報の組織化における主題情報の組織化について、図書館外の様々な分野における分類法なども踏まえて、広い視野からの理解を図る。	講義	日本語のみ	○	○	○	○	△	△
	LL108400	情報組織化B	選択	2年	情報の組織化における二次情報化としての図書館の目録/書誌情報を中心に、メタデータについての基本的な理解を図る。	講義	日本語のみ	○	○	○	○	△	△
	LL108500	知識組織化A	選択	2年	主題から情報資源へのアクセスを可能にするための手段について、理論的基礎を理解する。	講義	日本語のみ	◎	△	△	◎	○	△
	LL108600	知識組織化B	選択	2年	主題からのアクセスのための分類法に関する基礎理論を理解する。	講義	日本語のみ	◎	△	△	○	◎	△
	LL108700	書誌学	選択	2年	貴重な文化遺産である明治以前の古い書物について、巻物・和綴本などの形態から、版本・写本の別、本の大小や各部の名称に至るまで、本に関する知識を身につける。	講義	日本語のみ	△	○	○	△	△	△
	LL108800	専門コミュニケーション	選択	2年	専門用語、ターミノロジーの機能、実務の概要を知り、その基礎理論を理解する。	講義	日本語のみ	△	△	○	○	○	◎
	LL108900	知的財産権	選択	2年	知的財産権法の概略を知り、企業が開発をした製品がどのように保護されているかを理解し、他人の権利を侵害しないための方法を理解すること。	講義	日本語のみ	◎	△	○	○	△	△
	LL109000	アーツマネジメント基礎論	選択	2年	アーツマネジメントと文化政策に関する基礎知識を習得する。	講義	日本語のみ	○	◎	◎	◎	△	○
	LL109100	メディア芸術特殊実習	選択	2年	映像制作の実習を通し、高度な撮影、編集技術の習得と、コンピューターグラフィックスの基本的な技術を習得する。	実習	日本語のみ	○	△	△	◎	◎	○
	LL109200	芸術文化論	選択	2年	様々な映像作品に触れ、その鑑賞体験を的確に表現できる言葉を獲得する。今後、より深い映像体験ができるよう、過去の名作の見どころを知る。	講義	日本語のみ	○	△	◎	△	◎	△

【カリキュラム・マップの目的】

各科目は、各学部等の定める学位授与方針（ディプロマ・ポリシー：以下、「DP」）と教育課程の編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー：以下、「CP」）に基づき、カリキュラム上に配置されています。

カリキュラム・マップでは、科目毎に、それを履修することにより『何ができるようになるか（到達目標）』を示します。

また、それらの到達目標が、DPとCPに基づき設定された学習・教育目標、国際理解・地域理解・地域貢献のどの項目と関連するのを示します。

科目の到達目標と学習・教育目標の関連を明確にすることにより、カリキュラム全体を俯瞰し、自身の学習進捗具合を客観的に把握することができ、

自らの主体的な学びに必要な科目選択が可能となります。

また、DP・CPを意識して科目の学修を進めることで、各学部等の期待する能力が養成されます。

対象入学年度	2018年度以降入学生
対象学部学科	文学部 人文社会学科

学習・教育目標	①問題を発見する力
	②調査をする力
	③資料・テキストを解釈する力
	④データを分析する力
	⑤創造し表現する力
	⑥コミュニケーションする力

※学習・教育目標との関連度合いを表しています。
（◎＝強く関連、○＝関連、△＝やや関連）

区分	科目コード	科目名	科目区分	配当年次	授業の到達目標	講義形態	使用言語にする	学習・教育目標との関連					
								①	②	③	④	⑤	⑥
	LL109300	メディア芸術特殊講義	選択	2年	地域社会における劇場の役割や運営についての基礎知識を持って企画を考える力を養う。	講義	日本語のみ	○	○	◎	◎	○	◎
	LL109400	芸術史	選択	2年	美術作品を通じて歴史的考察力を養う。	講義	日本語のみ	○	○	◎	○	◎	○
	LL109500	演劇論	選択	2年	領域横断的なマルチメディアシアターや先端的な表現領域を含めた演劇史の基礎知識を得る。	講義	日本語のみ	○	◎	◎	△	○	△
	LL109600	映画論	選択	2年	様々な映画の鑑賞を通して、映画独自の表現方法を味わう感性を養うとともに、作品に関する文献を読みとき、作品を分析的に理解する力を身につける。	講義	日本語のみ	◎	△	◎	○	○	△
	LL109700	美学概論Ⅰ	選択	2年	美学の基本的な用語や知識を作品を通して理解し現代社会の事象と結びつけて考える力を養う。	講義	日本語のみ	○	△	◎	△	◎	△
	LL109800	美学概論Ⅱ	選択	2年	美学の基本的な用語や知識を作品を通して理解し現代社会の事象と結びつけて考える力を養う。	講義	日本語のみ	○	△	◎	△	◎	△
	LL109900	現代文化特殊研究Ⅰ	選択	2年	現代芸術作品を、関連する文献を読み解きながら論理的に鑑賞することで、芸術と社会の関係を分析的に理解し、その新しい可能性を見出す力を養う。	講義	日本語のみ	○	○	◎	△	△	◎
	LL110000	現代文化特殊研究Ⅱ	選択	2年	視覚情報伝達技術の発達への通史的な理解を通して、視覚デザインにおける現代的な課題を見出す力を養う。	講義	日本語のみ	◎	○	◎	○	△	△
	LL110100	児童サービス論	選択	2年	赤ちゃんからヤングアダルトまで、各年代に向けた資料の種類と特性についての知識を獲得する。また、読み聞かせやストーリーテリング、レファレンスなどの子どもと資料を結ぶ方法や、学校や保健所、ボランティア等との連携についての知識と技術を習得する。	講義	日本語のみ	○	△	○	△	△	◎
社会学コース必修	LL200100	社会学概論	必修	2年	・社会学の歴史と考え方を把握する。 ・社会調査の意義や種類、調査倫理に関する基本的知識を理解する。	講義	日本語のみ	◎	◎	◎	○		
	LL200200	社会調査法Ⅰ	必修	2年	・調査目的に応じた適切な調査方法を選択するための考え方を理解する。 ・収集した資料やデータを分析できる形に整理する具体的な手順を理解する。 ・社会調査に用いる調査票・質問文を作成できるようになる。	講義	日本語のみ	○	◎	◎	◎	○	
	LL200300	社会調査法Ⅱ	必修	2年	・社会調査で得られた質的・量的データの基礎的な分析方法を理解する。 ・官庁統計や簡単な調査報告・フィールドワーク論文を読むようになる。	講義	日本語のみ	○	◎	◎	◎	○	
	LL200400	社会調査実習	必修	3年	・調査企画から報告書作成に至る社会調査の全過程を体験することを通して、社会調査の実践に必要な知識と技術を総合的に身につける。	実習	日本語のみ	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	LL200500	社会学演習Ⅰ	必修	3年	著書・論文の読解方法、および文章作成能力の養成。	演習	日本語のみ	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	LL200600	社会学演習Ⅱ	必修	3年	著書・論文の読解方法、および文章作成能力の養成。	演習	日本語のみ	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	LL200700	社会学演習Ⅲ	必修	4年	著書・論文の読解方法、および文章作成能力の養成。	演習	日本語のみ	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	LL200800	社会学演習Ⅳ	必修	4年	著書・論文の読解方法、および文章作成能力の養成。	演習	日本語のみ	◎	◎	◎	◎	◎	◎

【カリキュラム・マップの目的】

各科目は、各学部等の定める学位授与方針（ディプロマ・ポリシー：以下、「DP」）と教育課程の編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー：以下、「CP」）に基づき、カリキュラム上に配置されています。

カリキュラム・マップでは、科目毎に、それを履修することにより『何ができるようになるか（到達目標）』を示します。

また、それらの到達目標が、DPとCPに基づき設定された学習・教育目標、国際理解・地域理解・地域貢献のどの項目と関連するのかを示します。

科目の到達目標と学習・教育目標の関連を明確にすることにより、カリキュラム全体を俯瞰し、自身の学習進捗具合を客観的に把握することができ、

自らの主体的な学びに必要な科目選択が可能となります。

また、DP・CPを意識して科目の学修を進めることで、各学部等の期待する能力が養成されます。

対象入学年度	2018年度以降入学生
対象学部学科	文学部 人文社会学科

学習・教育目標	①問題を発見する力
	②調査をする力
	③資料・テキストを解釈する力
	④データを分析する力
	⑤創造し表現する力
	⑥コミュニケーションする力

※学習・教育目標との関連度合いを表しています。
（◎＝強く関連、○＝関連、△＝やや関連）

区分	科目コード	科目名	科目区分	配当年次	授業の到達目標	講義形態	使用言語にする	学習・教育目標との関連					
								①	②	③	④	⑤	⑥
社会学専攻必修	LL200900	地域社会学	必修	2年	・地域社会学の基本的な考え方や概念を理解し説明できる。 ・地域社会で起きている具体的な問題や出来事について、社会全体の構造と関連させて考えられる。	講義	日本語のみ	◎	△	○	○	△	
	LL201000	福祉社会学	必修	2年	・現代社会における福祉の諸問題について、基本的な枠組みや問題を理解できるようになる。	講義	日本語のみ	◎	○	◎	○	○	○
	LL201100	情報社会学	必修	2年	・メディア論・社会学の基本的な考え方を身につける。 ・情報社会の歴史と、現在につながるメディアやコミュニケーションの変化を理解する。 ・日常でのメディア利用法を見直し、よりよりコミュニケーションや社会のあり方を構想できるようになる。	講義	日本語のみ	◎	△	○	○	△	
	LL201200	家族社会学	必修	2年	・家族社会学の基礎的な概念・視点・方法を理解する。 ・現代の家族をめぐる状況の変化を理解し、批判的に議論できるようになる。 ・家族に関わる諸現象について社会学的観点から考察できる。	講義	日本語のみ	◎	△	○	○	○	
	LL201300	社会心理学	必修	2年	・社会を構成する人間関係を理解できるようになる。	講義	日本語のみ	◎	○	○	○		
	LL201400	社会調査法Ⅲ	必修	3年	・記述統計学に加え推測統計学の基礎的な知識を理解する。 ・社会調査で得られた定量データを分析できるようになる。	講義	日本語のみ	○	◎	◎	◎	○	
	LL201500	質的調査法	必修	2年	・質的調査の考え方や方法を理解する。 ・社会調査で得られた質的データを分析できるようになる。	講義	日本語のみ	◎	◎	◎	◎	○	
社会学コース共通選択	LL201600	教育社会学	選択	2年	・学校教育を、社会的構造、制度の一つとして理解できるようになる。 ・社会が持つ階層性や知識や富の配分のしくみを理解できるようになる。	講義	日本語のみ	◎	△	○	○	△	
	LL201700	環境社会学	選択	2年	・人間社会は自然環境をどのように変化させ、自然環境の変化によって人間社会にはどのような影響が生じたのかを理解する。 ・自然環境の変化とそれによる人間社会への影響に対して人々はどのような取り組みをきたしたのかを理解する。	講義	日本語のみ	◎	△	○	○	△	
	LL201800	産業社会学	選択	2年	・現代日本社会の労働の特徴について基礎的な知識を身につける。 ・ニュースや身近な経験から、多くの人々に共通する産業や労働の問題を発見できるようになる。	講義	日本語のみ	◎	△	○	○	△	
	LL201900	政治社会学	選択	2年	・政治と社会学との関わりについて理解する。 ・政治を認識し、政治を自らの生に取り込むために、政治と社会との関わりを熟考できるようになる。	講義	日本語のみ	◎	△	○	○	△	
	LL202000	市民参加論	選択	2年	・市民社会の発展過程における社会運動、市民活動の歴史を理解する。 ・市民参画型社会に向けた具体的な参加の方法について理解し、それを身につける。 ・社会を構成する多様な市民の存在と今後の社会のあり方について考えられるようになる。	講義	日本語のみ	◎	△	○	○	△	
	LL202100	コミュニケーション論	選択	2年	・人間のコミュニケーションの多様性を理解する。	講義	日本語のみ	◎	△	◎	○		
	LL202200	社会人類学	選択	2年	・文化と心の関係性をもつ「普遍的な側面」と「多様な側面」を理解する。	講義	日本語のみ	◎	△	○	○	△	
	LL202300	キャリア発達論	選択	2年	・職場でどのような仕事経験をすることが考えられる。 ・仕事や働くことを自身の問題として現実的に考えられる。 ・仕事や働くことに関する現代社会の諸問題を考えられる。	講義	日本語のみ	◎	○	◎	○	○	○

【カリキュラム・マップの目的】

各科目は、各学部等の定める学位授与方針（ディプロマ・ポリシー：以下、「DP」）と教育課程の編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー：以下、「CP」）に基づき、カリキュラム上に配置されています。

カリキュラム・マップでは、科目毎に、それを履修することにより『何ができるようになるか（到達目標）』を示します。

また、それらの到達目標が、DPとCPに基づき設定された学習・教育目標、国際理解・地域理解・地域貢献のどの項目と関連するのを示します。

科目の到達目標と学習・教育目標の関連を明確にすることにより、カリキュラム全体を俯瞰し、自身の学習進捗具合を客観的に把握することができ、自らの主体的な学びに必要な科目選択が可能となります。

また、DP・CPを意識して科目の学修を進めることで、各学部等の期待する能力が養成されます。

対象入学年度	2018年度以降入学生
対象学部学科	文学部 人文社会学科

学習・教育目標	①問題を発見する力
	②調査をする力
	③資料・テキストを解釈する力
	④データを分析する力
	⑤創造し表現する力
	⑥コミュニケーションする力

※学習・教育目標との関連度合いを表しています。
（◎＝強く関連、○＝関連、△＝やや関連）

区分	科目コード	科目名	科目区分	配当年次	授業の到達目標	講義形態	使用言語	学習・教育目標との関連					
								①	②	③	④	⑤	⑥
	LL202400	自己論	選択	2年	・社会学的自己論の用語と概念を用いて、現代社会に見られる現象を分析、批判することができるようになる。	講義	日本語のみ	◎	△	○	○		
	LL202500	精神分析学	選択	2年	・精神分析理論の基礎を理解する。 ・精神分析理論がどのように社会分析や文化分析に使われているかを理解する。	講義	日本語のみ	◎	○	◎	○	○	○
	LL202600	逸脱の社会学	選択	2年	・現代の逸脱現象を比較社会的な見方に基づいて捉え、自分なりの見解を述べるができるようになる。	講義	日本語のみ	◎	△	○	○	△	
	LL202700	ジェンダー・セクシュアリティ論	選択	2年	・ジェンダーやセクシュアリティに関する概念が、人間関係や社会制度といかに結びつくかを理解する。 ・現代社会の問題をジェンダーの視点から論じ、ジェンダー抑圧やジェンダー差別を乗り越えるための方法について、自分の考えを記述できるようになる。	講義	日本語のみ	◎	△	○	○	△	
	LL202800	宗教社会学	選択	2年	・宗教社会学の根本問題の理解を通して、人はなぜどのように社会をつくるのかについて考えることができる。 ・宗教が社会的な存在であることの意味について、自分自身の問題として考えることができる。	講義	日本語のみ	◎	△	○	○	△	
	LL202900	ソーシャルネットワーク論	選択	2年	・現代社会において重要な役割を担っているソーシャルメディアの現状と、その影響について理解する。	講義	日本語のみ	◎	△	○	○	△	
	LL203000	都市社会論	選択	2年	・都市社会学の基本的な考え方や概念を理解し、説明できる。 ・都市で起きている具体的な問題や出来事について、社会全体の動きと関連させて考えられる。	講義	日本語のみ	◎	△	○	○	△	
	LL203100	現代社会論	選択	2年	・近代化の進展と、その結果として現代社会が抱えることになった諸問題について、社会理論の理解に基づいて把握できる。	講義	日本語のみ	◎	△	◎		△	○
	LL203200	集団・組織論	選択	2年	・集団・組織の構造と機能を理解できる。 ・集団・組織の管理と秩序を理解できる。 ・集団・組織への適応について考えられるようになる。	講義	日本語のみ	◎	△	○	○	△	
	LL203300	共生社会論	選択	2年	・差別と共生に関する基礎的な概念を理解する。 ・差別と共生の問題を、社会学的視点から発見できる。 ・共生社会の実現というテーマに接近するための思考法を身につける。	講義	日本語のみ	◎	△	○	○	○	
	LL203400	メディア社会論	選択	2年	・メディア論・社会学の基本的な考え方を身につける。 ・メディア社会の歴史を学び、現在につながるメディアやコミュニケーションの変化を理解する。 ・日常でのメディア利用法を見直し、よりよいコミュニケーションや社会のあり方を構想できるようになる。	講義	日本語のみ	◎	△	○	○	△	
	LL203500	カルチュラル・スタディーズ（文化研究）	選択	2年	・カルチュラル・スタディーズ、社会学における文化の理論を理解する。 ・メディア・リテラシーや文化リテラシーを身につける。 ・社会と文化の関係や現代社会における文化のあり方について考察できるようになる。	講義	日本語のみ	◎	○	◎	○	○	○
	LL203600	ライフコースの社会学	選択	2年	・ライフコースに関わる社会学的な視点を身につける。 ・自分自身と、周りのさまざまな年齢の人々のライフコースを理解する。	講義	日本語のみ	◎	△	○	○		
歴史・地理学	LL203700	社会問題論	選択	2年	・現代の日本社会におけるさまざまな社会問題について、社会学的な視点から理解し説明できるようになる。	講義	日本語のみ	◎	△	◎	○		
	LL300100	歴史・地理学演習Ⅰ	必修	3年	歴史・地理学各分野における史資料・文献を読み解く力を身につける。	演習	日本語のみ	◎	◎	◎	○	○	○
	LL300200	歴史・地理学演習Ⅱ	必修	3年	歴史・地理学各分野における史資料・文献を読み解いて、各種調査・報告能力を身につける。	演習	日本語のみ	◎	◎	◎	○	○	○

【カリキュラム・マップの目的】

各科目は、各学部等の定める学位授与方針（ディプロマ・ポリシー：以下、「DP」）と教育課程の編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー：以下、「CP」）に基づき、カリキュラム上に配置されています。

カリキュラム・マップでは、科目毎に、それを履修することにより『何ができるようになるか（到達目標）』を示します。

また、それらの到達目標が、DPとCPに基づき設定された学習・教育目標、国際理解・地域理解・地域貢献のどの項目と関連するのかを示します。

科目の到達目標と学習・教育目標の関連を明確にすることにより、カリキュラム全体を俯瞰し、自身の学習進捗具合を客観的に把握することができ、自らの主体的な学びに必要な科目選択が可能となります。

また、DP・CPを意識して科目の学修を進めることで、各学部等の期待する能力が養成されます。

対象入学年度	2018年度以降入学生
対象学部学科	文学部 人文社会学科

学習・教育目標	①問題を発見する力
	②調査をする力
	③資料・テキストを解釈する力
	④データを分析する力
	⑤創造し表現する力
	⑥コミュニケーションする力

※学習・教育目標との関連度合いを表しています。
（◎＝強く関連、○＝関連、△＝やや関連）

区分	科目コード	科目名	科目区分	配当年次	授業の到達目標	講義形態	使用言語にする	学習・教育目標との関連					
								①	②	③	④	⑤	⑥
I 必修	LL300300	歴史・地理学演習Ⅲ	必修	4年	歴史・地理学各分野で研究を進めるために必要な、史資料・文献の読解能力、調査・報告能力を習得する。	演習	日本語のみ	◎	◎	◎	○	◎	○
	LL300400	歴史・地理学演習Ⅳ	必修	4年	歴史・地理学各分野で研究を進めるために必要な、史資料・文献の読解能力、調査・報告能力を習得し、卒業論文作成のための力を身に付ける。	演習	日本語のみ	◎	◎	◎	○	◎	○
	LL300500	歴史・地理学特殊講義 A	必修	2年	日本史学に関する個別具体的な研究を通して、その研究方法についての理解を深める。	講義	日本語のみ	◎	△	○	○	◎	
	LL300600	歴史・地理学特殊講義 B	必修	2年	日本史学に関する個別具体的な研究を通して、その研究方法についての理解を深める。	講義	日本語のみ	◎	△	○	○	◎	
	LL300700	歴史・地理学特殊講義 C	必修	2年	日本史学に関する個別具体的な研究を通して、その研究方法についての理解を深める。	講義	日本語のみ	◎	△	○	○	◎	
	LL300800	歴史・地理学特殊講義 D	必修	2年	外国史研究の方法を具体的事例から学ぶ。	講義	日本語のみ	◎		○	△	◎	
	LL300900	歴史・地理学特殊講義 E	必修	2年	外国史の具体的事例を通して、歴史研究の方法についての理解を深める。	講義	日本語のみ	◎		○	△	◎	
	LL301000	歴史・地理学特殊講義 F	必修	2年	外国史の具体的事例を通して、歴史研究の方法についての理解を深め、卒業論文作成の基礎を学ぶ。	講義	日本語のみ	◎		○	△	◎	
	LL301100	歴史・地理学特殊講義 G	必修	2年	日本の自然・社会的な環境の生い立ちと地域特性を理解する。	講義	日本語のみ	◎		○	◎		
	LL301200	歴史・地理学特殊講義 H	必修	2年	日本と世界の地域編成がさまざまな歴史や背景をもって成立してきたことを理解する。	講義	日本語のみ	◎		○	◎		
日本史学専攻必修	LL301300	日本史学基礎講義 A	必修	2年	日本史学に関する各種文献・資料を読解し、分析・表現できるようにする。	講義	日本語のみ	△	○	◎	○	△	△
	LL301400	日本史学基礎講義 B	必修	2年	日本史学に関する各種文献・資料を読解し、分析・表現できるようにする。	講義	日本語のみ	△	○	◎	○	○	△
	LL301500	日本史学講義	必修	2年	卒業論文の制作に必須となる古文書読解能力の獲得を目標とする。	講義	日本語のみ	△	○	◎		△	△
	LL301600	日本史学基礎演習Ⅰ	必修	2年	日本史学における基本的な史料を読解して、関連事項の調査・報告ができるようにする。	演習	日本語のみ	◎	◎	◎	○	○	○
	LL301700	日本史学基礎演習Ⅱ	必修	2年	日本史学における基本的な史料を読解して、関連事項の調査・報告ができるようにする。	演習	日本語のみ	◎	◎	◎	○	○	○
世界史学専攻必修	LL301800	世界史学基礎講義Ⅰ	必修	2年	外国史に関する各種文献を読解できるようにする。	講義	日本語のみ	△	○	◎		△	△
	LL301900	世界史学基礎講義Ⅱ	必修	2年	外国史に関する各種文献・資料を読解し、分析・表現できるようにする。	講義	日本語のみ	△	○	◎	○	○	△
	LL302000	世界史学講義Ⅰ	必修	3年	欧米語や漢文の史資料読解のスキルアップ。	講義	日本語のみ	△	○	◎		△	
	LL302100	世界史学講義Ⅱ	必修	3年	欧米語や漢文の史資料読解の応用力を身につける。	講義	日本語のみ	△	○	◎		△	

【カリキュラム・マップの目的】

各科目は、各学部等の定める学位授与方針（ディプロマ・ポリシー：以下、「DP」）と教育課程の編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー：以下、「CP」）に基づき、カリキュラム上に配置されています。

カリキュラム・マップでは、科目毎に、それを履修することにより『何ができるようになるか（到達目標）』を示します。

また、それらの到達目標が、DPとCPに基づき設定された学習・教育目標、国際理解・地域理解・地域貢献のどの項目と関連するのを示します。

科目の到達目標と学習・教育目標の関連を明確にすることにより、カリキュラム全体を俯瞰し、自身の学習進捗具合を客観的に把握することができ、自らの主体的な学びに必要な科目選択が可能となります。

また、DP・CPを意識して科目の学修を進めることで、各学部等の期待する能力が養成されます。

対象入学年度	2018年度以降入学生
対象学部学科	文学部 人文社会学科

学習・教育目標	①問題を発見する力
	②調査をする力
	③資料・テキストを解釈する力
	④データを分析する力
	⑤創造し表現する力
	⑥コミュニケーションする力

※学習・教育目標との関連度合いを表しています。
（◎＝強く関連、○＝関連、△＝やや関連）

区分	科目コード	科目名	科目区分	配当年次	授業の到達目標	講義形態	使用言語	学習・教育目標との関連					
								①	②	③	④	⑤	⑥
地理学専攻必修	LL302200	世界史学基礎演習Ⅰ	必修	2年	外国史に関する基礎的文献の理解力、読解力を養う。	演習	日本語のみ	○	◎	◎		○	
	LL302300	世界史学基礎演習Ⅱ	必修	2年	外国史に関する専門的文献の理解力、読解力を養う。	演習	日本語のみ	○	◎	◎		○	
	LL302400	地理学基礎実習Ⅰ	必修	2年	地理学の基礎資料としての地図を読解し、必要な情報を抽出・編集できるようにする。	実習	日本語のみ	△	○	◎	△	○	
	LL302500	地理学基礎実習Ⅱ	必修	2年	地理学に関する各種地域資料を収集し、読解し、グラフや地図として分析・表現できるようにする。	実習	日本語のみ	△	◎	◎	◎	○	△
	LL302600	地理学講読	必修	2年	テキストが記述する地理的諸事象を適切に理解し、それらの脈絡を把握させる。	講義	日本語のみ	○		◎	○		
	LL302700	地理学フィールドワーク実習	必修	2年	地理学の調査技術を実習を通して習得する。	実習	日本語のみ	○	◎		△	○	◎
	LL302800	地域分析	必修	2年	測量データ・地域統計のデータを収集し、それを地域情報システムを用いて分析することができる。	講義	日本語のみ		○	△	◎	◎	
	LL302900	地図学	必修	2年	地図を深く理解し、多様な主題図表現力を身につける。	講義	日本語のみ			○		◎	○
	LL303000	地球環境科学	必修	2年	自然地理学分野を中心に、地球環境とその成り立ちについて幅広い理解を獲得する。	講義	日本語のみ	◎		○	○		
	LL303100	歴史学概説	選択	2年	歴史的な思考力が身につく、物事を論理的、大局的に捉えることができる。	講義	日本語のみ	◎		△	△	△	
歴史・地理学コース共通選択	LL303200	歴史学史	選択	2年	歴史的な思考力が身につく、物事を論理的、大局的に捉えることができる。	講義	日本語のみ	◎		△	△	△	
	LL303300	外国考古学Ⅰ	選択	3年	東南アジアについての理解を高める。東南アジアの自立的動きと、世界システムに組み込まれた東南アジアを巡る動きについて理解する。	講義	日本語のみ	◎		△	△	○	
	LL303400	外国考古学Ⅱ	選択	3年	習得できる力として、さまざまな考古学的データの分析の実例を通じて、科学的な思考力を養い、論理的に考える力を身につけることができる。	講義	日本語のみ	◎		△	△	○	
	LL303500	歴史地理学	選択	2年	世界の歴史的諸事象が展開する理由を地理学の視点から解釈する技術を身につけさせる。	講義	日本語のみ	○		◎	○		
	LL303600	地理学概説	選択	2年	地表面に展開する諸事象の地理学的解釈法を身につける。	講義	日本語のみ	○		◎	◎		
	LL303700	日本史史料学	選択	2年	古代・中世史料についての知識を深めるとともに、古代・中世史料の各様式が成立した、歴史的背景との関連性についても理解する。また、史料を実際に読解する能力も身につける。	講義	日本語のみ	◎	△	◎	○	○	
	LL303800	日本考古学Ⅰ	選択	2年	考古資料の取り扱い方を身につけることができる。	講義	日本語のみ	◎		△	△	○	
	LL303900	日本考古学Ⅱ	選択	2年	考古資料の取り扱い方を身につけることができる。	講義	日本語のみ	◎		△	△	○	

【カリキュラム・マップの目的】

各科目は、各学部等の定める学位授与方針（ディプロマ・ポリシー：以下、「DP」）と教育課程の編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー：以下、「CP」）に基づき、カリキュラム上に配置されています。

カリキュラム・マップでは、科目毎に、それを履修することにより『何ができるようになるか（到達目標）』を示します。

また、それらの到達目標が、DPとCPに基づき設定された学習・教育目標、国際理解・地域理解・地域貢献のどの項目と関連するのかを示します。

科目の到達目標と学習・教育目標の関連を明確にすることにより、カリキュラム全体を俯瞰し、自身の学習進捗具合を客観的に把握することができ、自らの主体的な学びに必要な科目選択が可能となります。

また、DP・CPを意識して科目の学修を進めることで、各学部等の期待する能力が養成されます。

対象入学年度	2018年度以降入学生
対象学部学科	文学部 人文社会学科

学習・教育目標	①問題を発見する力
	②調査をする力
	③資料・テキストを解釈する力
	④データを分析する力
	⑤創造し表現する力
	⑥コミュニケーションする力

※学習・教育目標との関連度合いを表しています。
（◎＝強く関連、○＝関連、△＝やや関連）

区分	科目コード	科目名	科目区分	配当年次	授業の到達目標	講義形態	使用言語にする	学習・教育目標との関連					
								①	②	③	④	⑤	⑥
	LL304000	日本文化史Ⅰ	選択	2年	食文化や日本の文化に対する関心を高め、知識を深めるようにし、文化的・歴史的思考能力を身につけられるようにする。	講義	日本語のみ	◎		△	△	○	
	LL304100	日本文化史Ⅱ	選択	2年	食文化や日本の文化に対する関心を高め、知識を深めるようにし、文化的・歴史的思考能力を身につけられるようにする。	講義	日本語のみ	◎		△	△	○	
	LL304200	日本民俗学	選択	2年	1、日本の民俗に対する関心が深まる。 2、民俗が現在にどう生かされているかが学べる。 3、常に他地域の民俗と比較するという目が持てる。	講義	日本語のみ	◎		△	△	○	
	LL304300	ヨーロッパ文明史Ⅰ	選択	2年	ヨーロッパの古代・中世に関する基本的な知識を習得できる・多角的な物の見方を養うことができる。	講義	日本語のみ	○		○			
	LL304400	ヨーロッパ文明史Ⅱ	選択	2年	ヨーロッパの近現代史に関する基本的な知識を習得できる・多角的な物の見方を養うことができる。	講義	日本語のみ	○		○			
日本語日本文学コース必修	LL400100	日本古典文学基礎演習	必修	2年	日本古典文学研究の基本的な方法を身につけることができる。	演習	日本語のみ	◎	◎	○	○	○	
	LL400200	日本近代文学基礎演習	必修	2年	演習の中で自らの解釈を説得力をもって他者へ伝達する技術を獲得し、併せて近代小説の基礎的な研究方法について学ぶ。	演習	日本語のみ	◎	○	◎	△	○	◎
	LL400300	日本語学基礎演習	必修	2年	平安時代の日本語の特質を『源氏物語』に焦点を当てつつ解明し、日本語研究の基礎的方法を身につける。	演習	日本語のみ	◎	◎	◎	◎	○	○
	LL400400	日本語日本文学演習Ⅰ	必修	3年	日本語・日本文学の研究課題を理解し、その研究方法を習得する。	演習	日本語のみ	◎	◎	◎	◎	◎	○
	LL400500	日本語日本文学演習Ⅱ	必修	3年	日本語・日本文学の研究課題を理解し、その研究方法を習得する。	演習	日本語のみ	◎	◎	◎	◎	◎	○
	LL400600	日本語日本文学演習Ⅲ	必修	4年	研究テーマについて、調査、分析、解釈、発表する力をつける。	演習	日本語のみ	◎	◎	◎	◎	◎	○
	LL400700	日本語日本文学演習Ⅳ	必修	4年	研究テーマについて、調査、分析、解釈、発表する力をつける。	演習	日本語のみ	◎	◎	◎	◎	◎	○
	LL400800	日本古典文学概論	必修	2年	古典を学ぶ上で基本的な知識を習得できる。	講義	日本語のみ	◎		○	○		
	LL400900	日本近代文学概論	必修	2年	「私小説の問題」「物語論と世界像」などの論点を通して日本近現代文学を概観し、視野を広げることを目標とする。	講義	日本語のみ	◎	△	◎	△	○	△
	LL401000	日本語学概論	必修	2年	日本語学の各ジャンルについての学問的知識を習得する。	講義	日本語のみ	◎	○	◎	◎		
日本語日本文学専攻必修	LL401100	日本古典文学史	必修	2年	日本古典文学史を具体的な作品の理解を通じて把握することができる。	講義	日本語のみ	◎	○	○	◎		
	LL401200	日本近代文学史	必修	2年	近現代文学を通時的に読み解くことによって、文学作品を線的な歴史のダイナミズムの中に置き直すことを目指す。	講義	日本語のみ	◎	◎	○	△	○	△
	LL401300	日本語史	必修	2年	言語はなぜ、どのように変化するのか、変化の原理や方向性を把握する。	講義	日本語のみ	◎	○	◎	◎		
	LL401400	日本古典文学講読Ⅰ	必修	2年	説話文学の読解を通じて古典の世界の価値観、想像力やくらしぶりを理解することができる。	講義	日本語のみ	◎	○	◎	○		

【カリキュラム・マップの目的】

各科目は、各学部等の定める学位授与方針（ディプロマ・ポリシー：以下、「DP」）と教育課程の編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー：以下、「CP」）に基づき、カリキュラム上に配置されています。

カリキュラム・マップでは、科目毎に、それを履修することにより『何ができるようになるか（到達目標）』を示します。

また、それらの到達目標が、DPとCPに基づき設定された学習・教育目標、国際理解・地域理解・地域貢献のどの項目と関連するのかを示します。

科目の到達目標と学習・教育目標の関連を明確にすることにより、カリキュラム全体を俯瞰し、自身の学習進捗具合を客観的に把握することができ、

自らの主体的な学びに必要な科目選択が可能となります。

また、DP・CPを意識して科目の学修を進めることで、各学部等の期待する能力が養成されます。

対象入学年度	2018年度以降入学生
対象学部学科	文学部 人文社会学科

学習・教育 目標	①問題を発見する力
	②調査をする力
	③資料・テキストを解釈する力
	④データを分析する力
	⑤創造し表現する力
	⑥コミュニケーションする力

※学習・教育目標との関連度合いを表しています。
（◎＝強く関連、○＝関連、△＝やや関連）

区分	科目 コード	科目名	科目 区分	配 当年 次	授業の到達目標	講 義 形 態	使 言 用 主 語 す に る	学習・教育目標との関連					
								①	②	③	④	⑤	⑥
	LL401500	日本近代文学講読Ⅰ	必修	2年	対立する見解に対して、客観的に検証作業を行い、自分の見解を立論する能力を身につける。	講義	日本語のみ	○	○	◎	△	○	△
	LL401600	日本語学講読Ⅰ	必修	2年	変革期の日本語に触れ、変化の過程を把握することができる。	講義	日本語のみ	◎	◎	◎	○		○
	LL401700	日本古典文学講読Ⅱ	必修	3年	研究史を踏まえ、先行論を批判的に考察し、自分の読み方を提示することができる。	講義	日本語のみ	◎	◎	◎	○		○
	LL401800	日本近代文学講読Ⅱ	必修	3年	研究史を踏まえ、先行論を批判的に考察し、自分の読み方を提示することができる。	講義	日本語のみ	◎	◎	◎	○		○
	LL401900	日本語学講読Ⅱ	必修	3年	『古事記』歌謡を読み、日本語や日本文化の歴史をさかのぼり、古代日本語の表現理解力を高める。	講義	日本語のみ	◎	◎	◎	○	◎	○
	LL402000	日本古典文学特殊講義	必修	3年	各自が和歌に慣れ親しみ、興味を持って味読できることを大きな目標とする。	講義	日本語のみ	◎	◎	◎	◎		
	LL402100	日本近代文学特殊講義	必修	3年	近代の名作を多様な文学理論によって新たに読み解くことで、各自がテキスト分析の具体的技術を習得することを目指す。	講義	日本語のみ	◎	○	◎	○	◎	△
	LL402200	日本語学特殊講義	必修	3年	日本語の語彙にはどのような特色が存するのかについて理解できる。	講義	日本語のみ	◎	◎	◎	○	○	
	LL402300	日本語文法論	必修	3年	古典を読む上に必要な文法の知識を身につけ、読解力と日本語の分析力を高める。	講義	日本語のみ	◎	◎	◎	◎	○	△

【カリキュラム・マップの目的】

各科目は、各学部等の定める学位授与方針（ディプロマ・ポリシー：以下、「DP」）と教育課程の編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー：以下、「CP」）に基づき、カリキュラム上に配置されています。

カリキュラム・マップでは、科目毎に、それを履修することにより『何ができるようになるか（到達目標）』を示します。

また、それらの到達目標が、DPとCPに基づき設定された学習・教育目標、国際理解・地域理解・地域貢献のどの項目と関連するのを示します。

科目の到達目標と学習・教育目標の関連を明確にすることにより、カリキュラム全体を俯瞰し、自身の学習進捗具合を客観的に把握することができ、自らの主体的な学びに必要な科目選択が可能となります。

また、DP・CPを意識して科目の学修を進めることで、各学部等の期待する能力が養成されます。

対象入学年度	2018年度以降入学生
対象学部学科	文学部 人文社会学科

学習・教育目標	①問題を発見する力
	②調査をする力
	③資料・テキストを解釈する力
	④データを分析する力
	⑤創造し表現する力
	⑥コミュニケーションする力

※学習・教育目標との関連度合いを表しています。
 (◎＝強く関連、○＝関連、△＝やや関連)

区分	科目コード	科目名	科目区分	配当年次	授業の到達目標	講義形態	使用言語にする	学習・教育目標との関連					
								①	②	③	④	⑤	⑥
日本語 日本文学 コース 共通選択	LL402400	古典文学資料読解	選択	2年	古文資料に触れ、日本古典資料とその取扱いに関する基礎的知識を習得するとともに、古典研究の土台としての重要性を認識する。	講義	日本語のみ	◎	◎	◎	○		
	LL402500	漢字文化論	選択	2年	漢字を軸にしながら、日本の文字社会が成立し、日本語に関する学術が成立発展したことを不足無く理解して、日本における漢字文化の概要を正確に身につける。	講義	日本語のみ	◎	○	◎			
	LL402600	日本近代文学Ⅰ	選択	2年	丸山薫と中原中也の芸術的世界の内実を理解すると共に、とりあつかう二人の詩人の詩を、各々の感性と言葉によって、「豊かに」「楽しく」、また他者に「伝わる」ように、鑑賞できるようにすることを目標とする。	講義	日本語のみ	◎		◎			
	LL402700	日本近代文学Ⅱ	選択	2年	基本的な知識と教養を身に付けるのに加え、同時代の文化問題とも密接に絡めることで、現代文化に対しての学生個々の問題意識と課題への認識を促す。	講義	日本語のみ	◎		◎		○	△
	LL402800	日本語教育研究Ⅰ	選択	2年	現代日本語の文法について理解し、学習者がどのように習得しているのか把握する	講義	日本語のみ	◎	◎	◎	◎	○	◎
	LL402900	日本語教育研究Ⅱ	選択	2年	現代日本語の文法について理解し、学習者がどのように習得しているのか把握する	講義	日本語のみ	◎	◎	◎	◎	○	◎
	LL403000	児童文学	選択	2年	児童文学の基礎知識を習得し、実際に出版されている多くの本の中から、どのような子どもの本（絵本）を選んだらよいのか、作品を分析し、評価する力を養う。	講義	日本語のみ		○	◎	○	○	
欧米言語文化 コース 必修	LL500100	欧米言語芸術概論	必修	2年	文芸学の基礎的な概念を理解し、作品の解釈に役立てられること。	講義	日本語のみ	◎		◎			
	LL500200	言語学概論	必修	2年	英語、ドイツ語、フランス語の言語学的な知識を身につけることができる。	講義	日本語のみ	○		○	○		
	LL500300	欧米文学史概論	必修	2年	前史としてのギリシャ古典を含めて、中世から現代に至るヨーロッパ文学の歴史の大枠を理解すること。	講義	日本語のみ	○		◎		○	
	LL500400	欧米言語文化演習Ⅰ	必修	3年	英語、ドイツ語、フランス語圏の言語や文化を研究し、より深い理解と考察によって1つの研究結果としてまとめる。	演習	日本語と英語、ドイツ語又はフランス語	○	○	○	○	○	○
	LL500500	欧米言語文化演習Ⅱ	必修	3年	英語、ドイツ語、フランス語圏の言語や文化を研究し、より深い理解と考察によって2つの研究結果としてまとめる。	演習	日本語と英語、ドイツ語又はフランス語	○	○	○	○	○	○
	LL500600	欧米言語文化演習Ⅲ	必修	4年	英語、ドイツ語、フランス語圏の言語や文化を研究し、より深い理解と考察によって3つの研究結果としてまとめる。	演習	日本語と英語、ドイツ語又はフランス語	○	○	○	○	○	○
	LL500700	欧米言語文化演習Ⅳ	必修	4年	英語、ドイツ語、フランス語圏の言語や文化を研究し、より深い理解と考察によって4つの研究結果としてまとめる。	演習	日本語と英語、ドイツ語又はフランス語	○	○	○	○	○	○
現代国際英語専攻 必修	LL500800	Essential Grammar	必修	2年	日本人特有の誤解を中心に英文法を再確認する。	講義	英語	○	◎		○		○
	LL500900	Basic Composition	必修	2年	英作文の基礎力を養成する。	講義	英語	○			○	◎	○
	LL501000	Academic WritingⅠ	必修	3年	英作文の応用力を養成する。	講義	英語		○	△	○	◎	
	LL501100	Academic WritingⅡ	必修	3年	英作文の更なる応用力を養成する。	講義	英語		○	△	○	◎	

【カリキュラム・マップの目的】

各科目は、各学部等の定める学位授与方針（ディプロマ・ポリシー：以下、「DP」）と教育課程の編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー：以下、「CP」）に基づき、カリキュラム上に配置されています。

カリキュラム・マップでは、科目毎に、それを履修することにより『何ができるようになるか（到達目標）』を示します。

また、それらの到達目標が、DPとCPに基づき設定された学習・教育目標、国際理解・地域理解・地域貢献のどの項目と関連するのかを示します。

科目の到達目標と学習・教育目標の関連を明確にすることにより、カリキュラム全体を俯瞰し、自身の学習進捗具合を客観的に把握することができ、自らの主体的な学びに必要な科目選択が可能となります。

また、DP・CPを意識して科目の学修を進めることで、各学部等の期待する能力が養成されます。

対象入学年度	2018年度以降入学生
対象学部学科	文学部 人文社会学科

学習・教育 目標	①問題を発見する力
	②調査をする力
	③資料・テキストを解釈する力
	④データを分析する力
	⑤創造し表現する力
	⑥コミュニケーションする力

※学習・教育目標との関連度合いを表しています。
（◎＝強く関連、○＝関連、△＝やや関連）

区分	科目 コード	科目名	科目 区分	配 当 年 次	授業の到達目標	講 義 形 態	使 言 用 主 語 す に る	学習・教育目標との関連					
								①	②	③	④	⑤	⑥
	LL501200	英米文化研究Ⅰ概論	必修	2年	アメリカ文学史の流れを創成期から現代に至るまで時代背景と併せて理解する。	講義	日本語と英語	○		◎	△		
	LL501300	English Communication 概論	必修	2年	英語によるコミュニケーションの基礎を学ぶ。	講義	日本語と英語	◎	○	△	△		○
	LL501400	Contemporary International English 概論	必修	2年	世界の中のさまざまな英語の現状を学ぶ。	講義	英語	◎	○	△	△		○
	LL501500	英米文化研究Ⅰ基礎演習	必修	2年	アメリカの文化的背景を理解し、そこから生まれた作品を鑑賞する。	演習	日本語と英語	○	△	◎			
	LL501600	English Communication 基礎演習	必修	2年	異文化間コミュニケーションの心構えを学ぶ。	演習	日本語と英語	◎	○	○	△		○
	LL501700	Cont. International English 基礎演習	必修	2年	世界各地のさまざまな英語の現状を知り調査にもとづき比較検討する。	演習	英語	○	◎	○	△		○
	LL501800	Oral Comprehension（英会話初級）	必修	1年	英会話の基礎的な技能を身につける。	講義	英語	○	△		△	○	◎
	LL501900	Oral Strategies（英会話初級）	必修	1年	英会話の基礎的な技能を身につける。	講義	英語	○	△		△	○	◎
ドイツ語圏文化専攻必修	LL502000	ドイツ語基礎演習Ⅰ	必修	2年	ドイツ語をもちいた簡単な自己表現と会話ができる。	演習	ドイツ語			○			◎
	LL502100	ドイツ語基礎演習Ⅱ	必修	2年	ドイツ語をもちいた簡単な自己表現と会話ができる。	演習	ドイツ語			○			◎
	LL502200	ドイツ語圏文化講読Ⅰ	必修	2年	文法に沿ったジャーマンポップスのテキストの講読ならびに基礎的なドイツ語作文により、文法の力を確かなものにする。	講義	日本語とドイツ語	○		◎			
	LL502300	ドイツ語圏文化講読Ⅱ	必修	2年	文法に沿ったジャーマンポップスのテキストの講読ならびに基礎的なドイツ語作文により、文法の力を確かなものにする。	講義	日本語とドイツ語	○		◎			
	LL502400	ドイツ語圏文化講読Ⅲ	必修	3年	ドイツ語の読解力をつける。	講義	日本語とドイツ語	○		◎			
	LL502500	ドイツ語圏文化講読Ⅳ	必修	3年	ドイツ語の読解力をつける。	講義	日本語とドイツ語	○		◎			
	LL502600	ドイツ文学鑑賞Ⅰ	必修	2年	代表的な作品を読み込み、ドイツ文学の鑑賞方法を学ぶ。	講義	日本語とドイツ語	○		◎		○	
	LL502700	ドイツ文学鑑賞Ⅱ	必修	2年	代表的な作品を読み込み、ドイツ文学の鑑賞方法を学ぶ。	講義	日本語とドイツ語	○		◎		○	
	LL502800	ドイツ語圏文化概論	必修	3年	近現代を中心にドイツ語圏文化の重要な諸側面を概観できること。その視野に立って自ら問題を設定し、調べ、文章化すること。	講義	日本語とドイツ語	○		◎		○	○
	LL502900	ドイツ語学概論	必修	3年	高度なドイツ語テキストを読むために必要になる中級、上級ドイツ語文法の習得。	講義	日本語とドイツ語	○		◎			
フランス	LL503000	フランス語基礎演習A	必修	2年	文法の基礎を押さえ、基本語彙を習得する。	演習	フランス語	△	△	△	△	○	◎

【カリキュラム・マップの目的】

各科目は、各学部等の定める学位授与方針（ディプロマ・ポリシー：以下、「DP」）と教育課程の編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー：以下、「CP」）に基づき、カリキュラム上に配置されています。

カリキュラム・マップでは、科目毎に、それを履修することにより『何ができるようになるか（到達目標）』を示します。

また、それらの到達目標が、DPとCPに基づき設定された学習・教育目標、国際理解・地域理解・地域貢献のどの項目と関連するのかが示します。

科目の到達目標と学習・教育目標の関連を明確にすることにより、カリキュラム全体を俯瞰し、自身の学習進捗具合を客観的に把握することができ、自らの主体的な学びに必要な科目選択が可能となります。

また、DP・CPを意識して科目の学修を進めることで、各学部等の期待する能力が養成されます。

対象入学年度	2018年度以降入学生
対象学部学科	文学部 人文社会学科

学習・教育目標	①問題を発見する力
	②調査をする力
	③資料・テキストを解釈する力
	④データを分析する力
	⑤創造し表現する力
	⑥コミュニケーションする力

※学習・教育目標との関連度合いを表しています。
 (◎＝強く関連、○＝関連、△＝やや関連)

区分	科目コード	科目名	科目区分	配当年次	授業の到達目標	講義形態	使用言語にする	学習・教育目標との関連					
								①	②	③	④	⑤	⑥
外国語文化専攻必修	LL503100	フランス語基礎演習B	必修	2年	文法の基礎を押さえ、基本語彙を習得する。	演習	フランス語	△	△	△	△	○	◎
	LL503200	フランス語基礎演習C	必修	2年	文法の基礎を押さえ、基本語彙を習得する。	演習	フランス語	△	△	△	△	○	◎
	LL503300	フランス語基礎演習D	必修	2年	文法の基礎を押さえ、基本語彙を習得する。	演習	フランス語	△	△	△	△	○	◎
	LL503400	フランス語圏文化講読Ⅰ	必修	3年	フランス語で書かれた作品を読み解くことができるようにする。	講義	日本語とフランス語	○	○	◎	△	○	○
	LL503500	フランス語圏文化講読Ⅱ	必修	3年	フランス語で書かれた作品を読み解き、その中から問題を発見し、さらに調査分析して、その結果を文章の形にまとめることができるようにする。	講義	日本語とフランス語	◎	○	◎	△	◎	○
	LL503600	フランス語圏文学Ⅰ	必修	2年	フランス文学の歴史を概観し、その代表的作品を原文で読み解くことができるようにする。	講義	日本語とフランス語	○	○	◎	△	○	○
	LL503700	フランス語圏文学Ⅱ	必修	2年	フランス文学の歴史を概観し、その代表的作品を原文で読み解くことができるようにする。	講義	日本語とフランス語	○	○	◎	△	○	○
	LL503800	フランス語学概論Ⅰ	必修	3年	中級レベルの文法（動詞の活用、時制、法、態など）を理解し、適切に使い分けて読解や作文・会話に利用することができるようにする。	講義	日本語とフランス語	○	○	○	○	○	○
	LL503900	フランス語学概論Ⅱ	必修	3年	中級レベルの文法（動詞の活用、時制、法、態など）を理解し、適切に使い分けて読解や作文・会話に利用することができるようにする。	講義	日本語とフランス語	○	○	○	○	○	○
欧米言語文化コース共通選択	LL504000	Current IssuesⅠ（英会話中級）	選択	2年	英会話の基礎から応用への橋渡しをする。	講義	英語	△	△	○		○	◎
	LL504100	Current IssuesⅡ（英会話中級）	選択	2年	英会話の基礎から応用への橋渡しをする。	講義	英語	△	△	○		○	◎
	LL504200	Current IssuesⅢ（英会話上級）	選択	3年	実践的な英会話の技能を高める。	講義	英語	△	○	△		◎	○
	LL504300	Current IssuesⅣ（英会話上級）	選択	3年	実践的な英会話の技能を高める。	講義	英語	△	○	△		◎	○
	LL504400	英米文化研究Ⅱ概論	選択	2年	時代、社会、文化の中にあるイギリス文化史の流れを把握し、時代の代表となる作家、作品を時代背景と共に理解することを目標とする。	講義	日本語と英語	○		◎	△		
	LL504500	英米文化研究Ⅱ基礎演習	選択	2年	イギリス文学について基礎的な知識を身につけ、作品の鑑賞力を高め、イギリス文学の造詣を深める。	演習	日本語と英語	○	△	◎			
	LL504600	Preparation for TOEIC・TOEFL	選択	2年	TOEIC/TOEFLの更なる得点力アップを目指し、各種技能を磨く。	講義	英語	○	△	◎	○		○
	LL504700	Listening Strategies	選択	2年	聴解力を高めるための技能を実践的に学ぶ。	講義	英語	◎			△	△	○
	LL504800	New Media English	選択	3年	近年の新たなメディアについて学び、またそれを用いた英語学習を推進する。	講義	英語	○	◎	△	△		○
	LL504900	Principles of FLT	選択	3年	主に海外における英語教授法や英語教育の動向を学び、実践する。	講義	英語	◎	△	△		○	○

【カリキュラム・マップの目的】

各科目は、各学部等の定める学位授与方針（ディプロマ・ポリシー：以下、「DP」）と教育課程の編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー：以下、「CP」）に基づき、カリキュラム上に配置されています。

カリキュラム・マップでは、科目毎に、それを履修することにより『何ができるようになるか（到達目標）』を示します。

また、それらの到達目標が、DPとCPに基づき設定された学習・教育目標、国際理解・地域理解・地域貢献のどの項目と関連するのかを示します。

科目の到達目標と学習・教育目標の関連を明確にすることにより、カリキュラム全体を俯瞰し、自身の学習進捗具合を客観的に把握することができ、

自らの主体的な学びに必要な科目選択が可能となります。

また、DP・CPを意識して科目の学修を進めることで、各学部等の期待する能力が養成されます。

対象入学年度	2018年度以降入学生
対象学部学科	文学部 人文社会学科

学習・教育 目標	①問題を発見する力
	②調査をする力
	③資料・テキストを解釈する力
	④データを分析する力
	⑤創造し表現する力
	⑥コミュニケーションする力

※学習・教育目標との関連度合いを表しています。
（◎＝強く関連、○＝関連、△＝やや関連）

区分	科目 コード	科目名	科目 区分	配 当 年 次	授業の到達目標	講 義 形 態	使 言 用 主 語 す に る	学習・教育目標との関連					
								①	②	③	④	⑤	⑥
	LL505000	ドイツ語圏近・現代史	選択	2年	近現代のドイツの歴史を概観できること。その視野に立つて自らテーマを設定し、調べ、文章化すること。	講義	日本語とドイツ語	◎	○	○			○
	LL505100	ドイツ文学史	選択	2年	中世から現代に至るドイツ文学の歴史の大枠を理解すること。	講義	日本語とドイツ語			◎		○	
	LL505200	ドイツ事情	選択	1年	ドイツ語圏の文化に対する理解を深めること。	講義	日本語とドイツ語	◎		○			
	LL505300	外国語としてのドイツ語	選択	2年	ドイツ語の教え方を自分なりに考え、実践できるようになること（Aは初級ドイツ語、Bは中級ドイツ語）。	講義	日本語とドイツ語	○	○				○
	LL505400	フランス事情	選択	2年	各種メディアを利用してフランス社会についての情報をフランス語ソースから直接得ることができるようにする。	講義	日本語とフランス語	○	◎	○	○	○	○
	LL505500	フランス文化論	選択	2年	フランスの文化について理解を深め、そのテーマや内容を適切に分析する能力を身につける。	講義	日本語とフランス語	◎	○	○	△	◎	○
	LL505600	北米・中米フランス語圏の文化	選択	2年	フランス語圏の諸地域の歴史的・社会的・文化的な問題について、総合的な理解を深め、自ら調査することができるようにする。また、フランス語圏の映画作品や文学作品のテーマや内容を適切に分析する能力を身につける。	講義	日本語とフランス語	◎	○	○	△	◎	○
	LL505700	アフリカフランス語圏の文化	選択	2年	フランス語圏の諸地域の歴史的・社会的・文化的な問題について、総合的な理解を深め、自ら調査することができるようにする。また、フランス語圏の映画作品や文学作品のテーマや内容を適切に分析する能力を身につける。	講義	日本語とフランス語	◎	○	○	△	◎	○
	LL505800	エクリチュールⅠ	選択	4年	簡単なフランス語の文章が書けるようになる。	講義	フランス語	△	△	△	△	◎	○
	LL505900	エクリチュールⅡ	選択	4年	簡単なフランス語の文章が書けるようになる。	講義	フランス語	△	△	△	△	◎	○
	LL506000	英米事情	選択	1年	映画に表された英米の歴史的な変化や文化を登場人物たちの行動や台詞から把握する。	講義	日本語と英語	◎	○	△			